



TORQUE

SKT01

取扱説明書

はじめに

「SKT01」をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
ご使用前の前やご利用中に、本書をお読みいただき、正しくお使いください。

SKT01の取扱説明書について

SKT01の操作については、本書のほかに『クイックスタートガイド』で説明しています。

●『クイックスタートガイド』（本体付属品）

お買い上げ時に最初に行う基本的な操作や設定のほか、画面の表示内容、主な機能の操作などを説明しています。

●『取扱説明書』（PDFファイル）

各種機能の操作や設定操作などを説明しています。次の京セラのホームページよりダウンロードできます。
<http://www.kyocera.co.jp/prdct/telecom/consumer/skt01/>

※『クイックスタートガイド』の最新情報もダウンロードできます。なお、URLおよび掲載内容については、将来予告なしに変更することがあります。

✓注意

- 本書の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。

操作説明文の表記について











本書では、各キーの操作を 、、、、、、、 を使って説明しています。また、タッチパネルで表示されるアイコンや項目の選択操作を次のように表記して説明しています。

表 記	操作内容
ホーム画面で  ▶ 【設定】 ▶ 【端末情報】	ホーム画面で  をタップして、次に表示された画面で「設定」を、さらに表示された画面で「端末情報」を順にタップする
アイコンをロングタッチ	画面上のアイコンを長めに（1～2秒間）触れたままにする

📌お知らせ

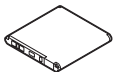
- 本書の操作説明は、お買い上げ時のホーム画面からの操作で説明しています。設定を変更している場合などは、操作手順が説明と異なることがあります。
- 本書で掲載している画面やイラストはイメージであるため、実際の製品や画面とは異なる場合があります。
- 本書では、操作方法が複数ある機能や設定の操作について、操作手順がわかりやすい方法で説明しています。
- 本書の本文中においては、「SKT01」を「本端末」と表記させていただいております。あらかじめご了承ください。

本体付属品

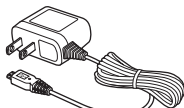
- SKT01 本体



- 電池パック (SKT01-BA)



- ACアダプタ (AD02KC)



- クイックスタートガイド



- ご利用にあたっての注意事項



目次

本体付属品	2
本端末のご利用について	5
安全上のご注意（必ずお守りください）	6
取り扱い上のご注意	14
防水／防塵／耐衝撃性能	19

ご使用前の確認と設定 26

各部の名称と機能	26
microSIMカードを取り付ける／取り外す	28
電池パックを取り付ける／取り外す	29
充電する	30
電源を入れる／切る	32
初期設定を行う	33
基本操作	34
着信／充電LEDについて	36
ステータスバー	37
通知パネル	39
ホーム画面	40
アプリ画面	41
タスクマネージャ	44
本端末内やウェブページの情報を検索する	44
文字入力	45
文字入力の設定	49
iWnn IMEの設定	50

電話 53

電話をかける／受ける	53
連絡帳	54

メール／ウェブブラウザ 59

メッセージ（SMS）	59
メール	61

Gmail	65
Google Chrome	66

アプリ 69

Playストア	69
カメラ	70
ギャラリー	74
写真	76
YouTube	77
位置情報サービスについて	77
カレンダー	81
時計	82
電卓	83
ドライブ	84
省電力ナビ	84

本体設定 86

設定メニューを表示する	86
無線とネットワーク	86
端末	93
ユーザー設定	97
アカウント	102
システム	103

ファイル管理 105

ストレージ構成	105
---------------	-----

データ通信 107

Bluetooth機能	107
NFC通信	109



外部機器接続 **111**

パソコンとの接続.....	111
---------------	-----

付録／索引 **112**

トラブルシューティング	112
保証とアフターサービス	115
ソフトウェア更新	118
主な仕様	119
携帯電話機の比吸収率などについて	120
オープンソースソフトウェアについて	123
輸出管理規制について	123
知的財産権について	124
索引	127




本端末のご利用について

- microSIMカードを取り付ければ、本端末での通話、データの送受信が可能になります。利用可能なモバイルネットワークは国や地域により異なります。ネットワークにアクセスするには本端末側の設定が必要な場合があります。本端末がネットワークに接続されない場合は、ご契約の通信事業者にお問い合わせください。
- 3G契約（LTEなし）のmicroSIMカードをご利用いただく際は、ホーム画面で▶ [設定] ▶ [その他...] ▶ [モバイルネットワーク] ▶ [ネットワークモード] をタップ、「3G/GSM」に設定していただき、一度電源をオフにし、再度電源をオンにしてください。ご利用いただけます。
- 本端末は、LTE・W-CDMA・GSM・無線LAN方式に対応しています。
- お客様ご自身で本端末に登録された情報は、別にメモを取るなどして保管していただくようお願いいたします。本端末の故障や修理、その他の取り扱いなどによって、万が一、登録された情報が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 大切なデータはmicroSDカードに保存することをおすすめします。
- 本端末はパソコンなどと同様に、お客様がインストールを行うアプリなどによっては、本端末の動作が不安定になったり、お客様の位置情報や本端末に登録された個人情報などがインターネットを経由して外部に発信され不正に利用されたりする可能性があります。このため、ご利用されるアプリなどの提供元および動作状況について十分にご確認の上ご利用ください。
- 本端末はマナーモード設定中でも、シャッター音、動画再生、音楽再生、アラームなどの音声や通話終了時の音は消音されません。
- 本端末のソフトウェアバージョンは、ホーム画面で▶ [設定] ▶ [端末情報] をタップして確認できます。
- microSDカードや端末の容量が少ない場合、起動中のアプリが正常に動作しなくなることがあります。その場合は保存されているデータを削除してください。
- 本端末のソフトウェアを最新の状態に更新することができます（P.118）。
- 本端末では、microSIMカードのみご利用になれます。
- 紛失し、本端末の画面ロックのパスワードなどを設定し、本端末のセキュリティを確保してください（P.99）。
- 万が一紛失した場合は、Gmail、Google Playなどのサービスを他の人に利用されないように、パソコンより各種アカウントのパスワードを変更してください。







- Googleが提供するサービスについては、Google Inc.の利用規約をお読みください。また、そのほかのウェブサービスについては、それぞれの利用規約をお読みください。
- Googleアプリおよびサービス内容は、将来予告なく変更される場合があります。
- ディスプレイは、非常に高度な技術を駆使して作られていますが、一部に点灯しないドットや常時点灯するドットが存在する場合があります。これは液晶ディスプレイの特性であり故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- 市販のオプション品については、当社では動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。

安全上のご注意（必ずお守りください）

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

 危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
 警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
 注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷を負う可能性が想定される場合および物的損害の発生が想定される」内容です。

- 次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

	禁止（してはいけないこと）を示します。
	分解してはいけないことを示す記号です。
	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。
	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

- 「安全上のご注意」は、次の項目に分けて説明しています。

1. 本端末、電池パック、ACアダプタの取り扱いについて（共通）..... 7
2. 本端末の取り扱いについて..... 9
3. 電池パックの取り扱いについて..... 10
4. ACアダプタの取り扱いについて..... 11
5. 医用電気機器近くでの取り扱いについて... 12
6. 材質一覧..... 13

1. 本端末、電池パック、ACアダプタの取り扱いについて（共通）



危険



禁止

高温になる場所（火のそば、暖房器具のそば、こたつの中、直射日光の当たる場所など）で使用、保管、放置しないでください。火災、やけど、けがの原因となります。炎天下の車内などの高温環境での長時間使用は端末が高温となり、やけど（高温・低温）などの恐れがありますのでご注意ください。端末が高温となった場合、使用条件および安全面を考慮し、機能を止めたり、電源オフになることがあります。



禁止

電子レンジなどの加熱調理機器や高压容器に入れないでください。火災、やけど、けが、感電の原因となります。



分解禁止

分解、改造をしないでください。火災、やけど、けが、感電の原因となります。



水濡れ禁止

水や飲料水、ペットの尿、汗などで濡らさないでください。火災、やけど、けが、感電の原因となります。防水性能について→P.19「防水／防塵／耐衝撃性能」



水濡れ禁止

充電端子や外部接続端子に液体（水や飲料水、ペットの尿、汗など）を浸入させないでください。火災、やけど、けが、感電の原因となります。



指示

本端末に使用する電池パックおよびACアダプタは、指定したものを使用してください。火災、やけど、けが、感電の原因となります。

警告

禁止

強い力や衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。火災、やけど、けが、感電の原因となります。



禁止

充電端子や外部接続端子、イヤホン端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）を接触させないでください。また、内部に入れないでください。火災、やけど、けが、感電の原因となります。



禁止

使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。火災、やけどの原因となります。



指示

ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は必ず事前に本端末の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。ガスに引火する恐れがあります。



指示

使用中、充電中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、いままどと異なるときは、直ちに次の作業を行ってください。

- ・電源プラグをコンセントから抜く
- ・本端末の電源を切る
- ・電池パックを本端末から取り外す

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

注意

禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。落下して、けがの原因となります。



禁止

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。火災、やけど、感電の原因となります。



指示

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご確認ください。けがなどの原因となります。



指示

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。誤って飲み込んだり、けがなどの原因となったりします。



指示

本端末をACアダプタに接続した状態で長時間連続使用される場合には特にご注意ください。

充電しながらゲームなどを長時間行うと本端末や電池パック・ACアダプタの温度が高くなることがあります。

温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌に赤みやかゆみ、かぶれなどが生じたり、低温やけどの原因となったりする恐れがあります。

2. 本端末の取り扱いについて

警告



禁止

ライトの発光部を人の目に近づけて点灯発光させないでください。特に、乳幼児を撮影するときは、1m以上離れてください。視力障害の原因となります。また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。



禁止

本端末内のmicroSIMカードスロットやmicroSDカードスロットに水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。火災、やけど、けが、感電の原因となります。



禁止

自動車などの運転者に向けてライトを点灯しないでください。運転の妨げとなり、事故の原因となります。



指示

航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、本端末の電源を切ってください。電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。航空機内での使用などの禁止行為をした場合、法令により罰せられます。ただし、電波を出さない設定にすることなどで、機内で本端末が使用できる場合には、航空会社の指示に従ってご使用ください。



指示

ハンズフリーに設定して通話する際や、着信音が鳴っているときなどは、必ず本端末を耳から離してください。また、イヤホンマイクなどを本端末に装着し、ゲームや音楽再生などをする場合は、適度なボリュームに調節してください。音量が大きすぎると難聴の原因となります。また、周囲の音が聞こえにくくと、事故の原因となります。



指示

心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。心臓に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。



指示

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本端末の電源を切ってください。電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。
※ ご注意いただきたい電子機器の例
補聴器、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。
植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。



指示

万が一、ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際には、割れたガラスや露出した本端末の内部にご注意ください。
ディスプレイ部には、化学強化ガラスを使用しておりますが、誤って割れた破損部や露出部に触れますと、けがの原因となります。

注意

禁止

本端末が破損したまま使用しないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。



禁止

モーションセンサーのご使用にあたっては、必ず周囲の安全を確認し、本端末をしっかり握り、必要以上に振り回さないでください。
けがなどの事故の原因となります。



禁止

誤ってディスプレイを破損し、液晶が漏れた場合には、顔や手などの皮膚につけないでください。
失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。液晶が目や口に入った場合には、すぐにきれいな水で洗い流し、直ちに医師の診断を受けてください。
また、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにアルコールなどで拭き取り、石鹸で水洗いしてください。



指示

自動車内で使用する場合、自動車メーカーもしくは販売業者に、電波による影響について確認の上で使用ください。
車種によっては、まれに車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。



指示

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。
各箇所の材質について→P.13「材質一覧」



指示

ディスプレイを見る際は、十分明るい場所で、画面からある程度の距離をとってご使用ください。
視力低下の原因となります。

3. 電池パックの取り扱いについて

■ 電池パックのラベルに記載されている表示により、電池の種類をご確認ください。

表示	電池の種類
Li-ion 00	リチウムイオン電池

**危険**

禁止

端子に針金などの金属類を接触させないでください。また、金属製ネックレスなどと一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。



禁止

電池パックを本端末に取り付けるときは、電池パックの向きを確かめ、うまく取り付けできない場合は、無理に取り付けしないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。



禁止

火の中に投下しないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。



禁止

釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。



指示

電池パック内部の液体などが目の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。

失明の原因となります。



警告



禁止

落下による変形や傷などの異常が見られた場合は、絶対に使用しないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。



指示

電池パックが漏液したり、異臭がしたりするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。

漏液した液体に引火し、発火、破裂の原因となります。



指示

ペットが電池パックに噛みつかないようにご注意ください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。



注意



禁止

一般のゴミと一緒に捨てないでください。発火、環境破壊の原因となります。不要となった電池パックは、端子にテープなどを貼り、絶縁してから回収を行っている市区町村の指示に従ってください。



禁止

濡れた電池パックを使用したり充電したりしないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。



指示

電池パック内部の液体などが漏れた場合は、顔や手などの皮膚につけないでください。失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。液体などが目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診断を受けてください。

4. ACアダプタの取り扱いについて



警告



禁止

ACアダプタのコードが傷んだら使用しないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。



禁止

ACアダプタは、風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。



禁止

雷が鳴り出したら、ACアダプタには触れないでください。

感電の原因となります。



禁止

コンセントにつないだ状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。



禁止

ACアダプタのコードの上に重いものをのせないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。



禁止

コンセントにACアダプタを抜き差しするときは、金属類を接触させないでください。火災、やけど、感電の原因となります。



禁止

本端末にACアダプタを接続した状態で、上下左右に無理な力を加えないでください。火災、やけど、けが、感電の原因となります。



濡れ手禁止

濡れた手でACアダプタのコードや充電端子、コンセントに触れないでください。火災、やけど、感電の原因となります。



指示

指定の電源、電圧で使用してください。誤った電圧で使用するると火災、やけど、感電の原因となります。
ACアダプタ：AC100V～240V



指示

電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。火災、やけど、感電の原因となります。



指示

ACアダプタをコンセントに差し込むときは、確実に差し込んでください。火災、やけど、感電の原因となります。



指示

電源プラグをコンセントから抜く場合は、ACアダプタのコードを無理に引っ張らず、ACアダプタを持って抜いてください。火災、やけど、感電の原因となります。



指示

本端末にACアダプタを抜き差しする場合は、無理な力を加えず、水平に真っ直ぐ抜き差ししてください。火災、やけど、けが、感電の原因となります。



電源プラグを抜く

長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。火災、やけど、感電の原因となります。



電源プラグを抜く

万が一、水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントから電源プラグを抜いてください。火災、やけど、感電の原因となります。



電源プラグを抜く

お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。火災、やけど、感電の原因となります。

5. 医用電気機器近くでの取り扱いについて



警告



指示

植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、装着部から本端末は15cm以上離して携行および使用してください。電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

身動きが自由に取れないなど、周囲の方と15cm未満に近づく恐れがある場合には、事前に本端末を電波の出ない状態に切り替えてください（機内モードまたは電源オフなど）。

付近に植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着している方がいる可能性があります。電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

医療機関内における本端末の使用については、各医療機関の指示に従ってください。

6. 材質一覧

■ 本端末

使用箇所	材質	表面処理
外装ケース（ディスプレイ側外周／背面側外周）、バックキー、ホームキー、メニューキー、電源キー、スピーカーフォンキー、音量UP／DOWNキー、ダイレクトボタン（内側）、カメラキー	ウレタン樹脂	—
外装ケース（ディスプレイ側内周）、カメラレンズ周囲部、背面カバーロックノブ	PC樹脂	アクリル系UV硬化塗装
背面カバー	PC樹脂	ウレタン系熱硬化塗装
ディスプレイ	化学強化ガラス	防汚処理

使用箇所	材質	表面処理
ダイレクトボタン（外周部）、飾りネジ（背面側）	PC樹脂	—
スピーカーパネル	SUS	—
カメラレンズ、ライト部	PMMA樹脂	ハードコート処理
イヤホン端子カバー、外部接続端子カバー	PC樹脂／ウレタン樹脂	アクリル系UV硬化塗装
飾りネジ（ディスプレイ側）	PC+ABS樹脂	アクリル系UV硬化塗装
充電端子	黄銅	金メッキ処理（下地：ニッケルメッキ）

■ ACアダプタ

使用箇所	材質	表面処理
外装ケース	PC樹脂	—
コード	TPE樹脂	—
コネクタ	SUS	ニッケルメッキ

■ 電池パック

使用箇所	材質	表面処理
樹脂部	ナイロン樹脂	—
金属部	アルミニウム	—
ラベル部	PET樹脂	—
端子部	ガラスエポキシ基板	Ni下地メッキ、金メッキ

取り扱い上のご注意

■ 共通のお願い

- SKT01は防水／防塵性能を有しておりますが、本端末内部に水や粉塵を侵入させたり、付属品に水や粉塵を付着させたりしないでください。

電池パック、ACアダプタは防水／防塵性能を有していません。風呂場などの湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。また身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有料修理となります。

- お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。
 - 乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。
 - ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。
 - アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。
- 端子は時々乾いた綿棒などで清掃してください。

端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れたり充電不十分の原因となったりしますので、端子を乾いた綿棒などで拭いてください。また、清掃する際には端子の破損に十分ご注意ください。

- エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。

急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。

- 本端末や電池パックなどに無理な力がかからないように使用してください。多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板、電池パックなどの破損、故障の原因となります。また、外部接続機器をイヤホン端子や外部接続端子に差した状態の場合、コネクタ破損、故障の原因となります。
- ディスプレイは金属などで擦ったり引っかいたりしないでください。傷つくことがあり、故障、破損の原因となります。

■ 本端末についてのお願い

- タッチパネルの表面を強く押ししたり、爪やボールペン、ピンなど先の尖ったもので操作したりしないでください。タッチパネルが破損する原因となります。
- 極端な高温、低温は避けてください。温度は5℃～35℃、湿度は35%～90%の範囲でのご使用をおすすめします。
- 一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、悪影響を及ぼす原因となりますので、なるべく離れた場所でご使用ください。

- お客様ご自身で本端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してください。万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本端末を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
故障、破損の原因となります。
- イヤホン端子や外部接続端子に外部接続機器を接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。
故障、破損の原因となります。
- 使用中、充電中、本端末は温かくなりますが、異常ではありません。
高温環境での長時間使用はやけど（高温・低温）などの恐れがありますのでご注意ください。
端末が高温となった場合、使用条件および安全面を考慮し、機能を止めたり、電源オフになることがあります。
- 本端末は24時間にわたる日射条件（合計1120W/nf）をクリアする耐日射性能を有しておりますが、カメラ側を上にして直射日光の当たる場所に放置しないでください。
素子の退色・焼付きを起こす場合があります。
- 通常はイヤホン端子カバー、外部接続端子カバーを閉じた状態でご使用ください。
ほこり、水などが入り故障の原因となります。
- 背面カバーを外したまま使用しないでください。
電池パックが外れたり、故障、破損の原因となったりします。
- microSDカードの使用中は、本端末の電源を切らないでください。
データの消失、故障の原因となります。
- 磁気カードなどを本端末に近づけないでください。
キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。
- 本端末に磁気を帯びたものを近づけないでください。
強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。

■ 電池パックについてお願い

- 電池パックは消耗品です。
使用状態などによって異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは電池パックの交換時期です。指定の新しい電池パックをお買い求めください。
 - 充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。
 - 電池パックの使用時間は、使用環境や電池パックの劣化度により異なります。
 - 電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。
 - 電池パックを保管される場合は、次の点にご注意ください。
 - フル充電状態（充電完了後すぐの状態）での保管
 - 電池残量なしの状態（本端末の電源が入らない程消費している状態）での保管電池パックの性能や寿命を低下させる原因となります。
- 保管に適した電池残量は、目安として電池残量が40パーセント程度の状態をおすすめします。

■ ACアダプタについてお願い

- 充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。
- 次のような場所では、充電しないでください。
 - 湿気、ほこり、振動の多い場所
 - 一般の電話機やテレビ・ラジオなどの近く
- 充電中、ACアダプタが温かくなることがありますが、異常ではありません。
- 抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。
- 強い衝撃を与えないでください。また、充電端子を変形させないでください。故障の原因となります。

■ Bluetooth機能を使用する場合のお願い

- 本端末は、Bluetooth機能を使用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容などによってセキュリティが十分でない場合があります。Bluetooth機能を使用した通信を行う際にはご注意ください。
- Bluetooth機能を使用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

・周波数帯について

本端末のBluetooth機能は、2.4GHz帯の周波数を使用します。



2.4FH1/XX1

変調方式としてFH-SS変調方式等を採用し、与干渉距離は約10m以下です。

移動体識別装置の帯域を回避することはできません。

航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

・Bluetooth機器使用上の注意事項

本端末の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略します）が運用されています。

- 本端末を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
- 万が一、本端末と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、「電源を切る」など電波干渉を避けてください。
- その他、ご不明な点につきましては、「お問い合わせ先」までお問い合わせください。

■ 無線LAN（WLAN）についてのごお願い

- ・無線LAN（WLAN）は、電波を利用して情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者に通信内容を盗み見られたり、不正に侵入されたりする可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。

・無線LANについて

電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。

- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなったりすることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
- テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れたりすることがあります。
- 近くに複数の無線LANアクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。

・周波数帯について

本端末の無線LAN機能は、2.4GHz帯の周波数を使用します。



2.4DS4/OF4

変調方式としてDS-SS方式およびOFDM方式を採用しています。与干渉距離は約40m以下です。全帯域を使用し、移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

・2.4GHz機器使用上の注意事項

- WLAN搭載機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。
- この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
 - 万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかご利用を中断していただいた上で、「お問い合わせ先」までお問い合わせいただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
 - その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、「お問い合わせ先」までお問い合わせください。

■ NFCリーダー／ライター機能について のお願い

- ・本端末のNFCリーダー／ライター、P2P機能は、無線局の免許を要しない微弱電波を使用しています。
- ・使用周波数は13.56MHz帯です。周囲で他のリーダー／ライター、P2P機能をご使用の場合、十分に離してお使いください。また、他の同一周波数帯を使用の無線局が近くにないことを確認してお使いください。
- ・航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。ご利用の国によっては使用が制限されている場合があります。その国／地域の法規制などの条件を確認の上、ご利用ください。

注意

- 改造された本端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法／電気通信事業法に抵触します。

本端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等に関する規則、および電気通信事業法に基づく端末機器の技術基準適合認定等に関する規則を順守しており、その証として「適マーク[®]」が本端末の銘板シールに表示されております。

本端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法および電気通信事業法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。

- 自動車などを運転中の使用にはご注意ください。

運転中の携帯電話を手で保持しての使用は罰則の対象となります。

ただし、傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合は対象外となります。

- 基本ソフトウェアを不正に変更しないでください。

ソフトウェアの改造とみなし故障修理をお断りする場合があります。

防水／防塵／耐衝撃性能

SKT01は、イヤホン端子カバー、外部接続端子カバー、背面カバーを確実に取り付けた状態で、IPX5^{*1}、IPX7^{*2}の防水性能、IP6X^{*3}の防塵性能を有しています。

また、米国防総省が制定したMIL-STD-810G^{*4} Method 516.6:Shock-Procedure IVに準拠した落下試験を実施していますが、すべての衝撃に対して保証するものではありません。

- ※1 IPX5とは内径6.3mmのノズルを用いて、約3mの距離から約12.5L／分の水を3分以上注水する条件で、あらゆる方向からのノズルによる噴流水によっても、電話機としての性能を保ちます。
- ※2 IPX7とは常温で、水道水、かつ静水の水深1mの水槽に電話機本体を静かに沈め、約30分間水底に放置しても、本体内部に浸水せず、電話機としての性能を保ちます。
- ※3 IP6Xとは防塵試験用粉塵（直径75 μ m以下）が内部に入らないように保護されていることを意味します。

※4 過酷な環境下での試験を実施する米国国防総省の調達基準 (MIL-STD-810G) の11項目 (Dust (粉塵)、Shock (落下)、Vibration (振動)、High Temperature (高温)、Low Temperature (低温)、Blowing rain (風雨)、Low pressure (低圧)、Solar radiation (太陽光照射)、Salt fog (塩水噴霧)、Humidity (湿度)、Immersion (浸漬)) に準拠した試験を実施。本端末の有する性能は、試験環境下での確認であり実際の使用時、すべての状況での動作を保証するものではありません。また、無破損・無故障を保証するものではありません。あらかじめご了承ください。

耐衝撃性：日常生活における使用での耐衝撃性能を想定していますので、投げつけたり、無理な落としかたをするなど、過度な衝撃を与えた場合は壊れる可能性がありますので、ご注意ください。また、本端末の性能に異常がなくても落下衝撃にて傷などが発生します。

SKT01が有する防水／防塵性能 でできること

- 風雨の中で傘をささずに通話ができます (1時間の雨量が101.6mm、風速17.8m/s、30分間)。
 - 手が濡れているときや本端末に水滴がついているときには、イヤホン端子カバー、外部接続端子カバー、背面カバーの開閉はしないでください。
- 汚れたり水道水以外が付着したりした場合に洗い流すことができます。
 - やや弱めの水流 (6L/分未満) で蛇口やシャワーより約10cm離れた位置で常温 (5℃～35℃) の水道水で洗えます。
 - 洗うときはイヤホン端子カバー、外部接続端子カバー、背面カバーを開かないように押さえたまま、ブラシやスポンジなどは使用せず手洗いしてください。洗った後は、水抜きをしてから使用してください (P.24)。

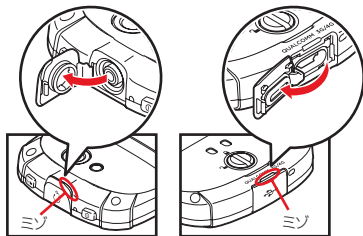
防水／防塵性能を維持するために

水や粉塵の侵入を防ぐために、必ず次の点を守ってください。

- 常温の水道水以外の液体をかけたり、浸けたりしないでください。
- イヤホン端子カバー、外部接続端子カバー、背面カバーはしっかりと閉じてください。接触面に微細なゴミ（髪の毛1本、砂粒1つ、微細な繊維など）が挟まると、水や粉塵が侵入する原因となります。
- 送話口（マイク）、スピーカー、ノイズキャンセル用マイクなどを尖ったものでつつかないでください。
- 落下させないでください。傷の発生などにより防水／防塵性能の劣化を招くことがあります。
- イヤホン端子カバー、外部接続端子カバー、背面カバー裏面のゴムパッキンは防水／防塵性能を維持する上で重要な役割を担っています。はがしたり傷つけないでください。また、ゴミが付着しないようにしてください。

■ イヤホン端子カバー、外部接続端子カバーの開きかた

ミソに指先をかけてカバーを開いてください。

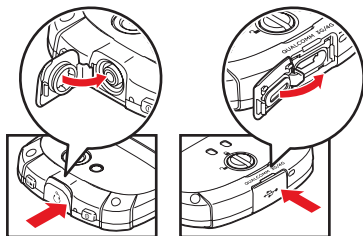


イヤホン端子カバー

外部接続端子カバー

■ イヤホン端子カバー、外部接続端子カバーの閉じかた


矢印の方向へカバーを戻した後に押し込んですき間がないことを確認してください。

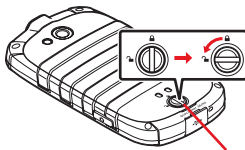


イヤホン端子カバー

外部接続端子カバー

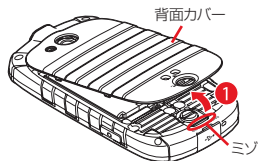
■ 背面カバーの取り外しかた

- 1 背面カバーロックノブをの方向に回転させてロックを外す



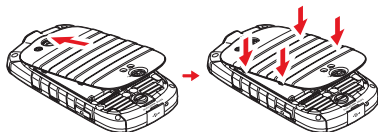
背面カバーロックノブ


- 2 本端末下部のミゾに指先をかけて、矢印(1)の方向へ背面カバーを持ち上げて取り外す

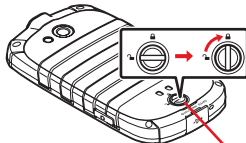


■ 背面カバーの取り付けかた

- 1 背面カバーの向きを確認して、本端末に合わせるように取り付け、しっかりと押して本端末とすき間がないことを確認



- 2 背面カバーロックノブをの方向に回転させてロックをかける



背面カバーロックノブ

防水／防塵性能を維持するため、異常の有無に関わらず、2年に1回、部品の交換をおすすめします。部品の交換は端末をお預かりして有料にて承ります。京セラ通信サービスセンターまでご連絡ください。

ご使用にあたっての注意事項

次のイラストで表すような行為は行わないでください。

〈例〉



石鹸／洗剤／入浴剤
をつける



ブラシ／スポンジ
で洗う



洗濯機で洗う



強すぎる水流を
当てる



海水につける



温泉で使う



砂／泥をつける

また、次の注意事項を守って正しくお使いください。

- 付属品は防水／防塵性能を有していません。
- 規定以上の強い水流（6L／分以上の水流：例えば、蛇口やシャワーから肌に対して痛みを感じるほどの強さの水流）を直接当てないでください。SKT01はIPX5の防水性能を有していますが、故障の原因となります。
- 万が一、塩水や海水、清涼飲料水がかかったり、泥や土などが付着したりした場合には、すぐに洗い流してください。乾燥して固まると、汚れが落ちにくくなり、傷や故障の原因となります。

- 熱湯に浸けたり、サウナで使用したり、温風（ドライヤーなど）を当てたりしないでください。
- 本端末を水中で移動させたり、水面に叩きつけたりしないでください。
- 水道水に浸けるときは、30分以内としてください。
- プールで使用するときは、その施設の規則を守って、使用してください。
- 本端末は水に浮きません。
- 水滴が付着したまま放置しないでください。寒冷地では凍結し、故障の原因となります。
- 送話口（マイク）、スピーカー、ノイズキャンセリング用マイクに水滴を残さないでください。通話不良となる恐れがあります。
- イヤホン端子カバー、外部接続端子カバー、背面カバーが開いている状態で水などの液体がかかった場合、内部に液体が入り、感電や故障の原因となります。そのまま使用せずに電源を切って、京セラ通信サービスセンターへご連絡ください。
- イヤホン端子カバー、外部接続端子カバー、背面カバー裏面のゴムパッキンが傷ついたり、変形したりした場合は、京セラ通信サービスセンターへご連絡ください。

- 投げつけたり、無理な落としかたをするなど、故意に極度な衝撃を与えた場合は壊れる可能性がありますのでご注意ください。また、本端末の性能に異常がなくても落下衝撃にて傷などが発生します。

実際の使用にあたって、すべての状況での動作を保証するものではありません。また、調査の結果、お客様の取り扱いの不備による故障と判明した場合、保証の対象外となります。

水抜きについて

本端末を水に濡らすと、拭き取れなかった水が後から漏れてくることがありますので、次の手順で水抜きを行ってください。

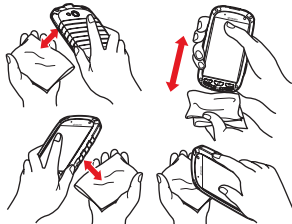
- 1 本端末をしっかりと持ち、表面、裏面を乾いた清潔な布などでよく拭き取る



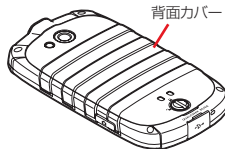
- 2 本端末をしっかりと持ち、20回程度水滴が飛ばなくなるまで振る



- 3 スピーカー、送話口（マイク）、ノイズキャンセラル用マイク、電源キー、スピーカーフォンキー、カメラキー、音量UP/DOWNキー、ダイレクトボタン、バックキー、ホームキー、メニューキー、充電端子、背面カバーロックノブ、アウトカメラ（レンズ部）、ライト、各カバー（イヤホン端子カバー、外部接続端子カバー、背面力バー）などのすき間に溜まった水は、乾いた清潔な布などに本端末を10回程度振るよう押し当てて拭き取る



- 4 本端末から出てきた水分を乾いた清潔な布などで十分に拭き取り、自然乾燥させる
 - 水を拭き取った後に本体内部に水滴が残っている場合は、水が染み出ることがあります。
 - すき間に溜まった水を綿棒などで直接拭き取らないでください。
 - 常温の環境で約3時間、本端末の背面力バーを上にした状態で自然乾燥させてください。

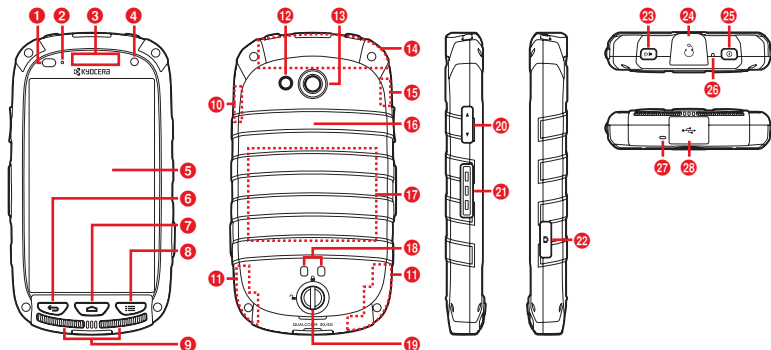






充電のときは



充電時、および充電後には、必ず次の点を確認してください。





- 充電時は、本端末が濡れていないかを確認してください。本端末が濡れている状態では、絶対に充電しないでください。
- 付属品は防水／防塵性能を有していません。
- 本端末が濡れている場合や水に濡れた後に充電する場合は、よく水抜きをして乾いた清潔な布などで水を拭き取ってから、外部接続端子カバーを開いてください。
- 外部接続端子カバーを開いて充電した場合には、充電後はしっかりとカバーを閉じてください。
- ACアダプタは、風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水周りや水のかかる場所で使用しないでください。火災や感電の原因となります。
- 濡れた手でACアダプタに触れないでください。感電の原因となります。

各部の名称と機能



- 1 近接／照度センサー：通話中に顔の接近を感知し、タッチパネルのオンとオフを切り替えて誤動作を防止したり、画面の明るさの自動制御に使用したりします。
- 2 着信／充電LED
- 3 受話部（レシーバー）：「スマートソニックレシーバー®」(P.27)で通話中の相手の方の声が聞こえます。
- 4 インカメラ（レンズ部）
- 5 タッチパネル
- 6 バックキー ：直前の画面に戻ります。または、ダイアログボックス、オプションメニュー、通知パネルなどを閉じます。
- 7 ホームキー ：ホーム画面に戻ります。1秒以上押し▶をタップすると、「Google」アプリ (P.44) を起動できます。
- 8 メニューキー ：表示している画面のオプションメニューを表示します。

- 9 スピーカー
- 10 Wi-Fi／Bluetoothアンテナ*
- 11 メインアンテナ*
- 12 ライト
- 13 アウトカメラ（レンズ部）
- 14 GPS／サブアンテナ*
- 15 サブアンテナ*
- 16 背面カバー：背面カバーを取り外して、電池パックを取り外すと、microSIMカードスロットとmicroSDカードスロットがあります。
- 17 NFCアンテナ*
- 18 充電端子
- 19 背面カバーロックノブ
- 20 音量UP／DOWNキー ：音量を調節します。の下を押し続けると、マナーモードを設定できます。

- 21 **ダイレクトボタン**  : 1秒以上押し、「ダイレクトボタン」(P94) で設定している機能が起動します。
- 22 **カメラキー**  : 1秒以上押しと、カメラが起動します。
- 23 **スピーカーフォンキー**  : スピーカーフォンのオン/オフを切り替えます。
- 24 **イヤホン端子**
- 25 **電源キー**  : 電源を入れる/切るときなどに使用します。
- 26 **ノイズキャンセル用マイク** : 周囲の騒音を自動で感知して自分の声を相手に聞きやすくします。通話中に指などでふさがないようにください。
- 27 **送話口 (マイク)**
- 28 **外部接続端子** : 充電時に使用します。
- ※ アンテナは本体に内蔵されています。アンテナ付近を手で覆ったり、シールなどを貼ったりしないでください。通話/通信品質に影響を及ぼす場合があります。

✓ 注意

- 近接/照度センサー上にシールなどを貼らないでください。

スマートソニックレシーバーについて

本端末は、ディスプレイ部を振動させて音を伝えるスマートソニックレシーバーを搭載しています。受話部 (レシーバー) に穴はありませんが、通常通りご使用いただけます。

■ 耳への当てかた

本端末の受話部 (レシーバー) 付近を耳に当て、耳を覆うことで周囲の騒音を遮へいし、音声より聞き取りやすくなります。ご自身の聞こえかたや周囲の環境に合わせて本端末の位置を上下左右に動かし、調整してください。

お知らせ

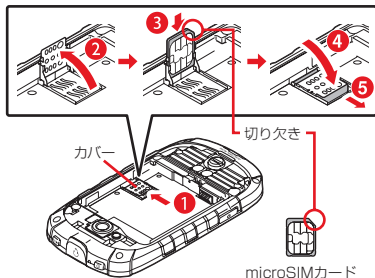
- 通話時に本端末の送話口 (マイク) を指などでふさがないようにご注意ください。
- イヤホン (市販品) を接続している場合は、スマートソニックレシーバーを利用した音声ではなく、イヤホンからの音声に切り替わります。
- ディスプレイにシールやシート類などを貼らないでください。受話音が聞き取りにくくなる場合があります。
- 聞き取りやすさには個人差があります。
- 周囲の環境により、聞き取りやすさの効果は異なります。

microSIMカードを取り付ける／取り外す

- microSIMカードの取り付け／取り外しは、必ず本端末の電源を切ってから行ってください (P.32)。

■ 取り付けかた

- 取り外す場合も同様の手順で行ってください。



1 背面カバーを取り外し、電池パックを取り外す

- 背面カバーの取り外しかた (P.22)
- 電池パックの取り外しかた (P.29)

2 microSIMカードスロットのカバーを矢印(1)の方向にスライドさせてロックを外し、矢印(2)の方向に開く

3 カバーにmicroSIMカードを差し込む(3)

- 切り欠きの方向にご注意ください。

4 カバーを閉じて(4)、矢印(5)の方向にスライドさせてロックをかける

5 電池パックを取り付け、背面カバーを取り付ける

- 電池パックの取り付けかた (P.29)
- 背面カバーの取り付けかた (P.22)

✓注意

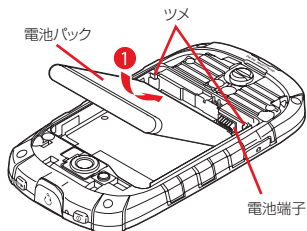
- microSIMカードスロットに互換性のないSIMカードを差し込むと、SIMカードや機器に損傷を与える可能性があります。京セラでは、互換性のない、または改変したSIMカードによる損傷については保証しておらず、その責任は一切負わないものとします。

電池パックを取り付ける／取り外す

- 電池パックの取り付け／取り外しは、必ず本端末の電源を切ってから行ってください (P.32)。

電池パックを取り付ける

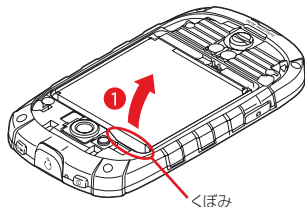
- 1 背面カバーを取り外す**
・背面カバーの取り外しかた (P.22)
- 2 電池パックの端子と本端末の電池端子の位置を確認して、本端末と電池パックのツメを合わせるように矢印 (1) の方向へ差し込む**



- 3 背面カバーを取り付ける**
・背面カバーの取り付けかた (P.22)

電池パックを取り外す

- 1 背面カバーを取り外す**
・背面カバーの取り外しかた (P.22)
- 2 本端末のくぼみから電池パックに指先をかけて、矢印 (1) の方向に持ち上げて取り外す**



- 3 背面カバーを取り付ける**
・背面カバーの取り付けかた (P.22)

充電する


お買い上げ時の電池パックは十分に充電された状態ではありません。

- 充電時間の目安について (P.119)

電池パックの寿命について

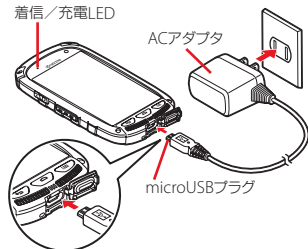
- 電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに1回で使える時間が、次第に短くなっていきます。
- 1回で使える時間がお買い上げ時に比べて半分程度になったら、電池パックの寿命が近づいていますので、早めに交換することをおすすめします。また、電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。
- 充電しながら通話などを長時間行くと、電池パックの寿命が短くなることがあります。

充電について

- 必ずSKT01に専用の電池パックを取り付けて充電してください。
- 充電には付属のACアダプタを使用することをおすすめします。
- ACアダプタの対応電圧はAC100Vから240Vです。海外で使用する場合は、渡航先に適合した変換プラグアダプタが必要です。なお、海外旅行用の変圧器を使用しての充電は行わないでください。
- 充電には対応のACアダプタやUSBケーブル（市販品）をご使用ください。対応充電器以外をご使用になると、充電できない場合や正常に動作しなくなる場合があります。
- ACアダプタのケーブルやUSBケーブルは、無理な力がかからないように水平にゆっくり抜き差ししてください。
- 充電を開始すると、本端末の着信／充電LEDが点灯します (P.36)。
- ホーム画面で  [設定] ▶ [電池] をタップすると、電池残量を確認できます。

ACアダプタを使って充電する

付属のACアダプタを使って充電する場合は、次の操作を行います。



- 1** 本端末の外部接続端子カバーを開き、ACアダプタのmicroUSBプラグを刻印面（)を上にして、本端末の外部接続端子に水平に差し込む
 - 外部接続端子カバーの開きかた (P.21)
- 2** ACアダプタの電源プラグをコンセントに差し込む
 - 本端末の着信/充電LEDが点灯します (P.36)。
- 3** 充電が完了したら、ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜く
- 4** ACアダプタのmicroUSBプラグを本端末から水平に抜く

5 外部接続端子カバーを閉じる

- 外部接続端子カバーの閉じかた (P.21)

✓注意

- 接続方向をよくご確認の上、正しく接続してください。無理に接続すると破損の原因となります。

パソコンを使って充電する

USBケーブル（市販品）などを使って、本端末をパソコンから充電することができます。

- 1** 本端末の外部接続端子カバーを開き、USBケーブル（市販品）を本端末の外部接続端子に水平に差し込む
 - 外部接続端子カバーの開きかた (P.21)
- 2** USBケーブル（市販品）をパソコンのUSBポートに差し込む
 - 本端末の着信/充電LEDが点灯します (P.36)。
- 3** 充電が完了したら、USBケーブル（市販品）をパソコンのUSBポートから抜く
- 4** USBケーブル（市販品）を本端末から水平に抜く

5 外部接続端子カバーを閉じる

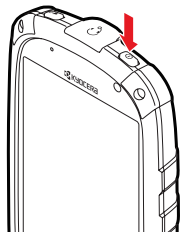
- 外部接続端子カバーの閉じかた (P.21)

✓注意

- 接続方向をよくご確認の上、正しく接続してください。無理に接続すると破損の原因となります。

電源を入れる／切る**電源を入れる****1 ① を1秒以上押す**

- 本端末が振動し、しばらくするとロック画面が表示されます。
- 電源を入れた後に、言語を選択する画面が表示された場合は、初期設定を行います (P.33)。

**2 画面ロックを解除**

- 画面ロックの解除方法について (P.33)

お知らせ

- SIMカードロック (P.99) を設定している場合は、PINコード入力画面でPINコードを入力します (P.99)。PINコードはmicroSIMカードとともにご契約の通信事業者から支給されますが、お客様ご自身で番号を変更することもできます (P.99)。

電源を切る**1 ① を1秒以上押す****2 【電源を切る】 ▶ 【OK】****スリープモードにする**

スリープモードにすると、画面のバックライトが消灯してタッチパネルやキーの誤動作を防止したり、画面ロックをかけたりします。


1 ① を押す

- 再度 ① を押すと、スリープモードが解除されます。

お知らせ

- 設定した時間が経過して、自動的に画面のバックライトが消灯した場合も、スリープモードになります。画面のバックライトが消灯するまでの時間は変更できます (P.94)。

画面ロックを解除する

画面ロックの解除画面（ロック画面）は、電源を入れたとき、または  を押してスリープモードを解除したときに表示されます。


- 1 **ロック画面の  をロングタッチしたまま  の方向にドラッグ**


お知らせ

- ロック画面の右端を左にフリックすると、カメラが起動します。
- 画面ロックの解除方法は変更できます (P.99)。

ロック画面にウィジェットを追加する

ロック画面にカレンダーなどのウィジェットを追加できます。

- 1 **ロック画面の左端を右にフリック**
- 2 ** ▶ 追加したいウィジェットをタップ**

- 続けて画面を右にフリック▶  をタップすると、最大5個のウィジェットを設定できます。

お知らせ


- ウィジェットを削除するには、ロック画面の左端を右にフリック▶削除したいウィジェットをロングタッチ▶画面上部に表示される「削除」までドラッグします。

初期設定を行う

電源を入れた後に、言語を選択する画面が表示されたら、画面の指示に従って初期設定を行います。

- 1 **【開始】**
- 2 **各項目を設定**
- 3 **【完了】 ▶ 【OK】**

お知らせ

- 後から言語を変更する場合は、ホーム画面で  ▶ **【設定】 ▶ 【言語と入力】 ▶ 【言語】** をタップします (P.100)。
- オンラインサービスを設定する前に、データ接続が可能な状態であることをご確認ください (P.37)。
- Google アカウントを設定しない場合でも本端末をお使いになれますが、Gmail、Google Play などの Google サービスがご利用になれません。

基本操作

タッチパネルの使いかた

タッチパネル利用上のご注意

- タッチパネルは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押ししたり、先の尖ったもの（爪／ボールペン／ピンなど）を押し付けたりしないでください。
- 次の場合はタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。
 - 手袋をしたままでの操作
 - 爪の先での操作
 - 異物を操作面に乗せたままでの操作
 - 保護シートやシールなどを貼っての操作
 - タッチパネルが濡れたままでの操作
 - 指が汗や水などで濡れた状態での操作

タッチパネル上の操作

■ タップ

アイコンやメニューなどの項目に指で軽く触れ、すぐに離します。

- 2回続けてすばやくタップすることを、ダブルタップといいます。

■ ロングタッチ

アイコンやメニューなどの項目に指で長く触れます。

■ フリック（スワイプ）

画面に触れて上下左右にはらうように操作します。

■ ドラッグ

画面に触れたまま目的の位置までなぞって指を離します。

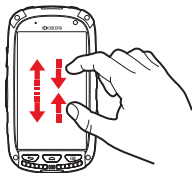
■ スクロール

画面内に表示しきれないときなどに、表示内容を上下左右に動かして、表示位置をスクロール（移動）します。



■ 指を広げる／狭める

画面に2本の指で触れ、指の間隔を開いたり（表示を拡大）、閉じたり（表示を縮小）します。



縦または横画面表示を自動で切り替える

本端末の向きに合わせて、自動的に縦画面表示または横画面表示に切り替わるように設定できます。

- 1 ホーム画面で ▶ **【設定】** ▶ **【ディスプレイ／キー】**
- 2 **「画面の自動回転」にチェックを入れる**

お知らせ

- 表示中の画面によっては、本端末の向きを変えても横画面表示されない場合があります。
- 地面に対して水平に近い状態で本端末の向きを変えても、自動で縦／横画面表示に切り替わりません。

マナーモードを設定／解除する



- 1 を1秒以上押す
- 2 / / のいずれかをタップ
 - をタップするとマナーモード（バイブレーション）に設定でき、 をタップするとマナーモード（ミュート）に設定できます。 をタップするとマナーモードが解除されます。


お知らせ

- の下を押し続けるとバイブレーションに、バイブレーション設定中に の下を押すとミュートに設定できます。ロック画面表示中や通話中などは、 の下を押してマナーモードを設定できません。
- マナーモード設定中でも、シャッター音、動画再生、音楽再生、アラームなどの音声や通話終了時の音は消音されません。
- マナーモード設定中に、音量の「着信音と通知音」(P93) で音量を調節したり、 の上を押して音量を上げたりすると、マナーモードは解除されます。

スクリーンショットを撮影する

現在表示されている画面を画像として撮影（スクリーンショット）できます。

- 1 **スクリーンショットを撮影したい画面で、 と  の下を同時に1秒以上押す**

- スクリーンショットが撮影され、ステータスバーにが表示されます。

お知らせ

- ステータスバーを下にドラッグ▶ [スクリーンショットを取得しました。] をタップすると、撮影した画像を「ギャラリー」/「写真」アプリで確認できます。また、[共有] をタップすると、撮影した画像を添付して送信したり、共有したりできます。

着信／充電LEDについて

充電中や不在着信など、本端末の状態を着信／充電LEDでお知らせします。

LEDの色と点灯／点滅	通知内容
赤の点灯	充電中であることを示す
緑の点滅*	不在着信、新着メッセージ(SMS)、新着Gmailがあることを示す

※ バックライト消灯中に点滅します。

ステータスバー

ステータスバーは画面上部に表示されます。ステータスバーには本端末の状態（ステータス）と通知情報が表示されます。ステータスバーの左側に通知アイコンが表示され、右側にステータスアイコンが表示されます。



ステータスバー

ステータスアイコン

ステータスバーに表示される主なステータスアイコンは次のとおりです。

	電波状態
	圏外
	3G (パケット) 使用可能
	3G (パケット) 通信中
	LTE使用可能
	LTE通信中
	Wi-Fi接続中
	Wi-Fi通信中
	Bluetooth機能をオンに設定中
	Bluetoothデバイスに接続中
	機内モード設定中
	マナーモード (バイブレーション) に設定中
	マナーモード (ミュート) に設定中
	スピーカーフォンをオンに設定中*




	送話口 (マイク) をミュートに設定中*
	アラーム設定中
	電池の状態
	充電中
	電池残量が少ない状態 (4%以下)
	microSIMカードが未挿入

※ ホーム画面などの別の画面に切り替えると表示されます。

通知アイコン

ステータスバーに表示される主な通知アイコンは次のとおりです。

	新着Eメールあり
	新着Gmailあり
	新着メッセージ (SMS) あり
	メッセージ (SMS) の配信に問題あり
	スクリーンショットあり
	データを受信/ダウンロード
	データを送信/アップロード
	Bluetooth通信でデータなどの受信通知あり
	microSDカードの準備中
	microSDカードのマウント解除
	アップデート通知
	インストール完了
	着信中/発信中 ^{*1} /通話中 ^{*1}
	不在着信あり
	カレンダーの予定通知あり
	ストップウォッチ計測中 ^{*1}
	タイマー使用中 ^{*1}
	アラーム鳴動中 ^{*1}
	Playミュージックで音楽再生中 ^{*1}
	USB接続中
	モバイルデータ無効
	Wi-Fiオープンネットワーク利用可能
	VPN接続中
	エラーメッセージ/注意メッセージ/高温状態メッセージ ^{*2}
	Wi-Fiアクセスポイント設定中


	Bluetoothテザリング設定中
	GPS測位中
	省電力ナビ動作中

※1 ホーム画面などの別の画面に切り替え则表示されず。

※2 高温環境での長時間使用はやけど（高温・低温）などの恐れがありますのでご注意ください。

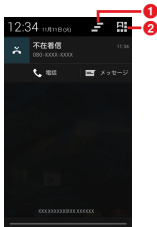
端末が高温となった場合、使用条件および安全面を考慮し、機能を止めたり、電源オフになることがあります。

通知パネル

ステータスバーに通知アイコンが表示されている場合は、通知パネルを開いて通知アイコンの内容を確認したり、アプリを起動したりできます。また、通知パネルを開いてをタップすると、画面の明るさを設定したり、機内モードのオン/オフなどを設定したりできます。

1 ステータスバーを下にドラッグ

■ 通知パネル



1











- 通知パネル内の表示をすべて削除します。通知内容によっては削除できない場合があります。

2




- タップすると、次の項目が表示されます。

	所有者情報を確認します。
	画面の明るさを調整します。
	設定メニューを表示します (P.86)。
	Wi-Fi機能を設定します (P.86)。
	データ使用を設定します (P.89)。


	電池残量や電池の使用状況を確認します。
	機内モードのオン/オフを設定します。
	Bluetooth機能を設定します (P.107)。

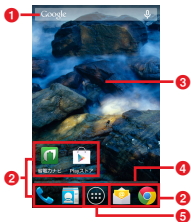
※ 設定状況によりアイコンは異なります。

お知らせ

- 通知パネルを閉じるには、を押します。
- 通知パネル内の通知を左右にフリックすると、一覧から削除できます。
- 通知パネル内の通知をロングタッチ▶ [アプリ情報] をタップすると、アプリの情報を確認できます。

ホーム画面

を押すと表示され、5個のホーム画面を左右にフリックして使用できます。



- 1 ウィジェット：Google 検索
- 2 アプリアイコン
- 3 壁紙
- 4 ホーム画面の現在表示位置
 - ・ホーム画面を左右にフリックすると切り替えられます。
- 5 アプリ画面ボタン

ホーム画面にフォルダを追加する

ホーム画面のアプリアイコンや一部のウィジェットをフォルダに入れて管理できます。

- 1 ホーム画面でアイコン／ウィジェットをロングタッチ▶別のアイコン／ウィジェットの上までドラッグ

お知らせ

- ・フォルダにアイコン／ウィジェットを移動するには、ホーム画面で移動したいアイコン／ウィジェットをロングタッチ▶フォルダの上までドラッグします。
- ・フォルダ名を変更するには、フォルダをタップ▶フォルダ名をタップ▶フォルダ名を入力▶[完了]をタップします。
- ・フォルダを削除するには、ホーム画面で削除したいフォルダをロングタッチ▶画面上部に表示される「削除」までドラッグします。フォルダ内のアイコン／ウィジェットも削除されます。

ホーム画面のアプリアイコン／ウィジェットを移動する

- 1 ホーム画面で移動したいアイコン／ウィジェットをロングタッチ
- 2 任意の場所までドラッグ
 - ・ロングタッチしたままホーム画面の左右にドラッグすると、別のホーム画面へ移動できます。

壁紙を変更する

ホーム画面の壁紙を変更できます。

- 1 ホーム画面上のアイコン/ウィジェットがない部分で画面をロングタッチ
- 2 **【ギャラリー】** / **【ライブ壁紙】** / **【写真】** / **【壁紙】** のいずれかをタップ
 - 以降は、画面の指示に従って操作してください。

アプリ画面

アプリ画面について説明します。

- 1 ホーム画面で



- 1 アプリ/ウィジェットタブ
 - アプリアイコン/ウィジェット一覧を表示します。
- 2 一覧画面の現在表示位置
- 3 「Playストア」(P.69) へのショートカットボタン
- 4 アプリアイコン一覧

アプリ一覧

アプリ画面に表示されるアプリは次のとおりです。

📷 カメラ

写真や動画の撮影ができます。→P.70

📅 カレンダー

カレンダーを表示して、予定の管理をします。→P.81

🖼️ ギャラリー

「カメラ」アプリで撮影したり、ウェブページからダウンロードしたりして、保存した静止画や動画を表示できます。→P.74

⬇️ ダウンロード

ダウンロード済みやダウンロード中のデータの情報を確認します。

📁 ドライブ

本端末に保存したデータを、Googleのオンラインサービス「Googleドライブ」に保存します。→P.84

📍 ナビ

目的地までのルートを検索できます。

⌚ ハングアウト

ハンガアウトを使ってチャットができます。


 **マップ**

現在地の表示、他の場所の検索や経路検索などGoogleマップのサービスを利用できます。


→P.79

 **メール**


Eメール(複数のアカウントを使用可)を送受信します。→P.61

 **メッセージ**

メッセージ(SMS)を送受信します。→P.59

 **ローカル**

近くの場所の詳細情報を検索できます。

 **音声検索**

Google音声検索を利用できます。→P.44

 **時計**

アラームや世界時計、ストップウォッチ、タイマーを利用できます。→P.82

 **写真**

本端末で撮影した写真や動画を、Google+に自動的にバックアップできます。→P.76

 **省電力ナビ**

省電力モードをオンにしたり、モバイルデータ通信を自動的に制御したりして、電池の消費を抑えることができます。→P.84

 **設定**

本端末の各種設定を行います。→P.86

 **電卓**

加算、減算、乗算、除算などの基本的な計算を行います。→P.83

 **電話**

電話を利用します。→P.53

 **連絡帳**

電話番号、メールアドレス、各種サービスのアカウントなど、連絡先に関するさまざまな情報を入力できます。→P.54

 **Chrome**

インターネットに接続するためのブラウザです。→P.66

 **Gmail**

Googleアカウントのメールを送受信できます。→P.65

 **Google**


キーワードから本端末内やウェブページを対象に検索できます。→P.44

 **Google+**


Googleが提供するSNSのクライアントアプリであるGoogle+を起動します。

 **Google設定**


Googleアプリに関する設定をします。

 **Playゲーム**


Google Playからゲームをダウンロードして楽しむことができます。

 **Playストア**

Google Playにアクセスして新しいアプリのダウンロード・購入ができます。→P.69

 **Playブックス**

Google Playから新作、ベストセラーなどをダウンロードして読むことができます。

 **Playミュージック**

音楽を再生します。


■ Playムービー

Google Playの映画レンタルサービスにアクセスして、鑑賞したい映画作品をレンタルできます。


■ YouTube

世界中の動画を再生したり、録画した動画をアップロードしたりできます。→P.77

🔗 お知らせ

- 複数のアプリを起動していると、電池の消費量が増えて使用時間が短くなることがあります。使用しないアプリは終了することをおすすめします。アプリを終了するには、を1秒以上押し▶サムネイル表示されたアプリを左右フリックします。

アプリアイコン／ウィジェットをホーム画面に追加する

- 1 ホーム画面で▶「アプリ」／「ウィジェット」タブをタップ
- 2 追加したいアイコン／ウィジェットをロングタッチ
- 3 ホーム画面領域までドラッグ



- 設定画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

🔗 お知らせ


- ホーム画面のアイコン／ウィジェットを削除するには、ホーム画面で削除したいアイコン／ウィジェットをロングタッチ▶画面上部に表示される「削除」までドラッグします。
- ホーム画面のウィジェットの表示サイズを変更するには、ホーム画面でウィジェットをロングタッチ▶青色の枠をドラッグします。

アプリをアンインストールする

- アンインストールする前に、アプリ内に保存されているデータも含めて、そのアプリに関連する保存しておきたいコンテンツをすべてバックアップしておいてください。
- アプリによっては、アンインストールできない場合があります。

- 1 ホーム画面で▶「アプリ」タブをタップ
- 2 アンインストールしたいアイコンをロングタッチ
- 3 画面上部のまでドラッグ▶ [OK]

🔗 お知らせ

- アンインストールできない一部のアプリは、手順3でにドラッグ▶【無効にする】▶ [OK] をタップすると無効化 (P.96) することができます。

タスクマネージャ

最近使用したアプリをサムネイルで一覧表示し、起動できます。


- 1  を1秒以上押す

お知らせ

- アプリを起動するには、サムネイル表示されたアプリをタップします。
- アプリをサムネイルの一覧から削除するには、サムネイル表示されたアプリを左右にフリックします。
- アプリの情報を確認するには、サムネイル表示されたアプリをロングタッチ▶ [アプリ情報] をタップします。

本端末内やウェブページの情報を検索する

検索ボックスに文字を入力すると、本端末内やウェブ上の情報を検索できます。


- 1 ホーム画面で**Google検索ウィジェット**をタップ
- 2 **検索する語句を入力**
 - 文字入力について (P.45)
- 3 **検索項目またはソフトウェアキーボードの**
 - 検索結果からアプリを選択した場合は、アプリが起動します。

お知らせ

- Google Nowの説明画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

Google音声検索を利用する

検索する語句を音声で入力できます。

- 1 ホーム画面で**Google検索ウィジェット**の
- 2 **送話口(マイク)に向かって検索したい語句を話す**

検索設定

検索ボックスで使用する設定や、本端末内での検索対象を設定できます。

1 ホーム画面でGoogle検索ウィジェットをタップ

2 ▶【設定】

Google Now※1	位置情報サービスをオンにして、現在の天気、目的地までの交通状況や経路などを確認できます。
端末内検索	検索対象とする本端末内のデータの種類にチェックを入れる／外すことで、検索範囲を変更できます。
音声	音声検索時の言語や設定を変更できます。
アカウントとプライバシー	現在地や通勤経路の共有、検索履歴などの設定を変更できます。 • Googleアカウントの設定によっては、表示されない項目があります。
通知※2	Google Nowからの更新情報を表示するかどうかを設定します。
ヘルプとフィードバック	検索設定のヘルプを表示します。フィードバックを送信することもできます。



※1 Googleアカウントを設定している場合に表示されます。

※2 Google Nowをオンにしている場合に表示されます。

文字入力

文字入力は、メールの作成や連絡先の登録など、文字入力欄をタップすると表示されるソフトウェアキーボードを使います。

お知らせ

- ソフトウェアキーボードが表示されると、ステータスバーにが表示されます。
- ソフトウェアキーボードを非表示にするには、を押します。

入力方法の選択

本端末では、次の入力方法を選択できます。

1 文字入力画面で▶【入力方法】

Google 音声入力	「Google 音声入力」で文字を音声入力できます。
日本語 iWnn IME	主に漢字／ひらがな／カタカナを入力する場合に選択します。テンキーボード／フルキーボードの2種類があります。

iWnn IMEのソフトウェアキーボード

iWnn IMEでは、次のソフトウェアキーボードのタイプを切り替えて使用できます。

テンキーボード	1つの文字入力キーに複数の文字が割り当てられたキーボードです。フリック入力やトグル入力を使用します。
フルキーボード	一般的なパソコンのキーボードと同じ配列のキーボードです。日本語はローマ字で入力します。

お知らせ

- ソフトウェアキーボードのキー表示は、入力画面や文字種、設定によって変わります。

ソフトウェアキーボードや設定を変更する

1 文字入力画面で

各種設定	iWnn IMEの設定を行います (P.50)。
テンキー⇄フルキー	テンキーボード／フルキーボードを切り替えます。
入力モード切替	入力する文字種を切り替えます。
入力方法	入力方法を選択します (P.45)。

テンキーボード／フルキーボードでの文字入力



テンキーボード



フルキーボード

1

iWnn IMEメニューを表示します。



1つ前の文字を表示（逆順）します（フリック入力を除く）。
※ フルキーボードでの文字入力時は表示されません。



変換確定後に表示され、変換前の表示に戻ります。
※ フルキーボードでの文字入力時は表示されません。







2

カーソルを左へ移動します。文字入力中／変換時は、文字の区切りを変更します。

- 3  絵文字／記号／顔文字一覧を表示して入力できません。
※ 操作する画面やアプリなどによっては、入力できない文字種があります。
- 4  ひらがな漢字入力時の変換確定前に表示され、英数字やカタカナの変換候補を表示します。
※ フルキーボードでの文字入力時は表示されませ
ん。
- 4  /  /  「ひらがな漢字」→「半角英字」→「半角数字」の順に文字種が切り替わります。
全角カタカナ／半角カタカナ／全角英字／全角数字の文字種に切り替える場合は、▶【入力モード切替】をタップします。
※ 操作する画面やアプリなどによっては、入力できない文字種があります。
- 5  /  /  ロングタッチ iWnn IMEメニューを表示します。
- 5  「Google音声入力」で文字を音声入力できます。
 ひらがな漢字／カタカナ入力時に表示され、大文字／小文字の切り替えや濁点／半濁点を付加します。
※ フルキーボードでの文字入力時は表示されませ
ん。
- 6  英字入力時に表示され、大文字／小文字を切り替えます。
※ フルキーボードでの文字入力時は表示されませ
ん。
- 7  数字入力時に表示され、*、!、?を入力できます。
※ フルキーボードでの文字入力時は表示されませ
ん。
- 6  選択した文字やカーソル位置の前の文字を削除します。
- 7  /  カーソルを右へ移動します。文字入力中／変換時は、文字の区切りを変更します。
- 8  ひらがな漢字入力時に通常変換候補を表示します。文字未入力時はスペースを入力します。
- 9  カタカナ／英字／数字入力時にスペースを入力します。
- 9  改行します。
 変換確定前に表示され、文字を確定します。
※ 一部の画面では、 や「次へ」「完了」「実行」などが表示されませ
ん。
- 10  /  /  小文字／1文字のみ大文字／大文字を切り替えます。
数字入力時では、入力できる記号の種類も切り替わります。

■ 予測変換について

- ひらがな漢字入力時にをタップすると通常変換候補を表示します。をタップすると、再度予測変換候補を表示します。
- 「日本語ワイルドカード予測」(P.51) または「ワイルドカード予測」(P.51) を設定している場合は、字数を指定して変換させることができます。カーソルが文末の右位置にあるとき、／をタップするたびに「○」が表示されます。「○」は任意の1文字とし、変換候補には入力文字数以上の候補を表示します。

テンキーボードの入力方法

■ フリック入力

上下左右にフリックして各行の文字を入力します。

・例：「な」行を入力する場合


「な」はタップするだけで入力できます。「に」は左、「ぬ」は上、「ね」は右、「の」は下にそれぞれフリックして入力できます。




■ トグル入力

同じキーを連続してタップし、割り当てられた文字を入力します。同じキーに配列された文字を続けて入力するには、次のように操作します。


・例：「あお」と入力する場合






- ① 「あ」を1回タップ
- ② ▶ 「あ」を5回タップ

・例：「ca」と入力する場合


- ① 「ABC」を3回タップ
- ② ▶ 「ABC」を1回タップ

テキストの編集

連絡先やカレンダーなどの文字入力画面で、編集したい文字をダブルタップすると、画面上部にテキストの編集メニューが表示されます。または、をドラッグすると、選択する文字列を変更できます。

 (すべて選択)	入力した文字列をすべて選択します。
 (切り取り)	選択した文字列を切り取ります。
 (コピー)	選択した文字列をコピーします。
 (貼り付け)	コピーまたは切り取った文字列を貼り付けます。
 (終了)	編集メニューを終了します。

お知らせ

- コピーまたは切り取った文字列を貼り付けるには、挿入したい位置でロングタッチ▶ [貼り付け] をタップします。テキストが入力されている場合は、挿入したい位置でタップ▶▶ [貼り付け] をタップします。
- 編集メニューのアイコンはアプリにより異なります。
- 横画面ではテキストの編集メニューが表示されない場合があります。
- アプリによっては、本機能を利用できない場合があります。

文字入力の設定


入力方法ごとに、文字入力の各種設定を行うことができます。

1 ホーム画面で▶ [設定] ▶ [言語と入力]

2 「Google音声入力」 / 「iWnn IME」の

- 表示される画面の項目をタップして設定してください。

お知らせ








- 設定できる項目は、入力方法により異なります。
- 文字入力中にステータスバーを下にドラッグ▶ [入力方法の選択] ▶ [入力方法をセットアップ] ▶各入力方法のをタップしても設定画面が表示されます。

iWnn IMEの設定

1 ホーム画面で  ▶ **【設定】** ▶ **【言語と入力】**

2 **「iWnn IME」** の 

キー操作音	キーをタップしたときに音を鳴らすかどうかを設定します。 キー操作音の音量は、音量の「着信音と通知音」(P.93) と連動しています。
キー操作バイブ	キーをタップしたときに振動させるかどうかを設定します。
キーポップアップ	タップしたキーの拡大表示やフリック入力のガイドを表示するかどうかを設定します。
キーボードタイプ	縦画面／横画面ごとに、ソフトウェアキーボードのタイプ (P.46) を変更します。すべての入力文字種 (ひらがな漢字／カタカナ／英字／数字) に対して一括で設定したり、個別に設定したりできます。
キーサイズ	縦画面／横画面ごとに、キーボードの高さを設定します。


他の入力方法に切り替え	 を表示するかどうかを設定します。チェックを入れると、  が  に変わり、  をロングタッチするとソフトウェアキーボードを切り替えることができます。
音声入力キーを表示	 を表示するかどうかを設定します。
左右キーを表示	フルキーボードでの文字入力時に  /  を表示するかどうかを設定します。
フルスクリーンモード	横画面時にテキスト表示領域を全画面で表示するかどうかを設定します。
候補表示行数	縦画面／横画面時に表示される変換候補の表示行数を設定します。
フリック入力	フリック入力を利用するかどうかを設定します。
フリック感度	フリック入力時の感度を変更します。
トグル入力	トグル入力を利用するかどうかを設定します。
自動カーソル移動	トグル入力での文字入力後、自動でカーソルが右に移動するまでの間隔を設定します。 カーソル移動後でも、大文字／小文字の切り替えや濁点／半濁点を付加できます。

日本語候補学習	ひらがな漢字入力時に変換候補から選択した語句を学習し、文字入力時に優先的に変換候補に表示するかどうかを設定します。
日本語予測変換	ひらがな漢字入力時に予測変換候補を表示するかどうかを設定します。
日本語ワイルドカード予測	ひらがな漢字入力時にワイルドカード予測機能 (P.48) を利用するかどうかを設定します。
候補学習	英字入力時に変換候補から選択した語句を学習し、文字入力時に優先的に変換候補に表示するかどうかを設定します。
予測変換	英字入力時に予測変換候補を表示するかどうかを設定します。
ワイルドカード予測	英字入力時にワイルドカード予測機能 (P.48) を利用するかどうかを設定します。
入力ミス補正	フルキーボードで半角英字入力時、入力ミスの修正候補を表示するかどうかを設定します。
自動大文字変換	半角英字入力時に、文頭の文字を自動的に大文字に変換するかどうかを設定します。

自動スペース入力	半角英字入力時に、変換候補の語句を選択するとスペースを自動入力するかどうかを設定します。
引用入力 (マッシュルーム)	引用入力 (マッシュルーム) を利用するかどうかを設定します (P.52)。
日本語	P.52
英語/その他	
学習辞書リセット	学習辞書の登録内容をすべて削除します。 絵文字/記号/顔文字の入力履歴も削除されます。
設定リセット	iWnn IMEの設定を初期化します。
iWnn IME	iWnn IMEのバージョンを確認します。

引用入力（マッシュルーム）の利用

「引用入力（マッシュルーム）」(P.51) を「使用する」に設定して入力拡張プラグインをインストールすると、引用入力などさまざまな文字入力に関する機能を拡張できます。



- 1 文字入力画面で  をロングタッチ
- 2 項目を選択
 - ・以降は画面の指示に従って操作してください。

ユーザー辞書

あらかじめ辞書の設定をしておく、文字入力時に優先的に変換候補として表示されません。

ユーザー辞書に登録する

ユーザー辞書には「日本語」と「英語／その他」の2種類があります。





- 1 文字入力画面で  ▶ **【各種設定】**
- 2 **【日本語】** / **【英語／その他】**
- 3  ▶ **【登録】**
- 4 **【読み】** の文字入力欄をタップ▶ **入力**
- 5 **【表記】** の文字入力欄をタップ▶ **入力**
- 6 **【保存】**

お知らせ





- ・編集／削除する場合は、登録したユーザー辞書を選択して、手順3で  ▶ **【編集】** / **【削除】** をタップします。

電話をかける／受ける




電話をかける

- 1 ホーム画面で  「」 タブをタップ
- 2 電話番号を入力 
 -  をタップすると、番号を削除できます。
- 3 通話が終了したら 


お知らせ

- 手順1で「」タブをタップすると発着信履歴画面、「」タブをタップするとよく使う／電話番号のある連絡先の一覧画面を表示できます。
- 手順1で  をタップすると、連絡先を検索できます。
- 「ダイレクトボタン」(P.94) を「オンフック／オフフック」に設定している場合は、 を1秒以上押ししても通話を終了することができます。

電話を受ける

- 1 着信時に  をロングタッチしたまま  (右) の方向にドラッグ
- 2 通話が終了したら 




お知らせ

- 画面ロックを設定中でも同様の操作で応答できます。
- 「ダイレクトボタン」(P.94) を「オンフック／オフフック」に設定している場合は、 を1秒以上押しでも電話を受けることができます。



着信音を聞こえないようにする

- 1 着信時に  または  を押す

お知らせ

- マナーモード (バイブレーション) 設定中の着信時に  または  を押すと、着信バイブレータの振動を止めることができます。
- ホーム画面などで  を押すと、着信音量を調節できます。

着信を拒否する

- 1 着信時に  をロングタッチしたまま  (左) の方向にドラッグ

お知らせ

- 画面ロックを設定中でも同様の操作で拒否できます。

連絡帳

電話番号、メールアドレス、各種サービスのアカウントなど、連絡先に関するさまざまな情報を入力できます。

連絡先を表示する

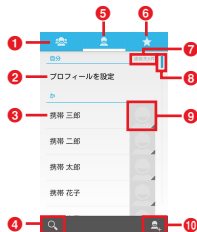
- 1 ホーム画面で ▶ 「」タブをタップ
 - 連絡先一覧画面が表示されます。

お知らせ

- ホーム画面で ▶ 「」タブをタップすると、よく使う／電話番号のある連絡先の一覧画面が表示されます。

■ 連絡先一覧画面

連絡先一覧画面では、連絡先の各種情報が表示されます。連絡先に写真や画像を追加したり、グループごとの連絡先を表示したりすることもできます。



- 1 グループタブ
- 2 プロフィール
 - プロフィールが設定されている場合は、名前や写真／画像が表示されます。
- 3 連絡先に登録された名前
- 4 検索
- 5 連絡先タブ
- 6 お気に入りタブ
- 7 連絡先の登録件数
- 8 インデックスバー
 - ドラッグして一覧をスクロールすることができます。
- 9 画像
 - 写真／画像が設定されている場合は、写真／画像が表示されます。
 - タップすると、電話の発信やメールの送信ができます。
- 10 登録

連絡先を管理する


連絡先を登録する

1 ホーム画面で ▶「」タブをタップ▶

- 連絡先が1件も登録されていない場合は、連絡先一覧画面にメニューが表示されます。[新しい連絡先を作成] をタップすると連絡先を登録できます。[アカウントにログイン] をタップするとGoogleアカウントの登録 (P.102)、[連絡先をインポート] をタップすると内部ストレージ／microSDカードに保存されている連絡先データをインポートできます。
- アカウントの選択画面が表示された場合は、[本体] / [Google] をタップします。[本体] をタップすると内部ストレージ、[Google] をタップするとGoogleアカウントが連絡先の保存先に設定されます。連絡先の保存先は、連絡先登録画面で画面上部の [本体からの連絡先] / [Googleからの連絡先] ▶ [本体] / [Google] をタップすると変更できます。

- バックアップするアカウントの追加確認画面が表示された場合は、[ローカルに保存] をタップすると、本端末の内部ストレージを保存先にして連絡先を登録できます。[アカウントを追加] をタップすると、Googleアカウントを設定できます。


2 連絡先登録画面で名前などの必要な項目を入力

- 電話番号やメールアドレスなどを複数入力する場合は、[新しく追加] をタップします。
- 連絡先の保存先が「Google」のとき、グループを登録する場合は、[グループ名] ▶設定するグループにチェックを入れる▶を押します。[新しいグループを作成] ▶グループ名を入力▶ [OK] をタップすると、新しいグループを作成して設定できます。
- 項目を追加する場合は、[別のワールドを追加] をタップします。




3 [完了]

- 連絡先一覧画面で登録した連絡先をタップすると、連絡先詳細画面が表示され、登録内容を確認できます。


お知らせ

- 連絡先一覧画面には、「よみがな」の登録内容に従って五十音順、アルファベット順で表示されます。「よみがな」を入力しなかった場合は、「名前」の登録内容に従って表示されます。
- 複数の電話番号やメールアドレスを登録している場合は、連絡先一覧画面で連絡先をタップ▶連絡先詳細画面で電話番号やメールアドレスをロングタッチ▶[デフォルトに設定]をタップすると、メインで使用する番号やアドレスとして設定できます。
- 連絡先登録画面で  ▶ [統合] / [分割] をタップすると、連絡先の統合/分割ができます。

連絡先をグループに設定する

- 1 ホーム画面で  ▶ 「」タブをタップ
- 2 グループ一覧画面で連絡先を設定したいグループをタップ
- 3 グループ詳細画面で  ▶ [編集]
- 4 グループ編集画面で「名前を入力」欄にグループ設定したい連絡先の名前を入力▶連絡先を選択
- 5 [完了]



お知らせ

- グループから連絡先を削除する場合は、グループ編集画面で削除したい連絡先の  をタップします。

連絡先のグループを新規作成する

- 1 ホーム画面で  ▶ 「」タブをタップ
- 2 グループ一覧画面で  ▶ アカウントの選択画面で [本体] / [Google]
 - [本体] をタップすると内部ストレージ、[Google] をタップすると Google アカウントがグループの保存先に設定されます。
- 3 グループ編集画面でグループの名前を入力▶「名前を入力」欄にグループ設定したい連絡先の名前を入力▶連絡先を選択
- 4 [完了]

お知らせ

- 新規作成したグループは編集/削除できます。編集/削除する場合は、グループ一覧画面で編集/削除したいグループをタップ▶  ▶ [編集] / [削除] をタップします。
- グループから連絡先を削除する場合は、グループ編集画面で削除したい連絡先の  をタップします。

連絡先を編集する

- 1 ホーム画面で ▶ 「」タブをタップ ▶ 編集する連絡先を選択
- 2 連絡先詳細画面で ▶ 【編集】
- 3 連絡先登録画面で必要な項目を選択して編集
 - [新しく追加] をタップして電話番号やメールアドレスなどを設定したり、 をタップして設定している情報を消去したりします。
- 4 【完了】

連絡先をお気に入り登録する

- 1 ホーム画面で ▶ 「」タブをタップ ▶ お気に入り登録する連絡先を選択
- 2 連絡先詳細画面で

お知らせ

- お気に入りに登録した連絡先を表示するには、連絡先一覧画面で「」タブをタップします。

表示する連絡先を設定する

- 1 ホーム画面で ▶ 「」タブをタップ ▶ ▶ 【表示する連絡先】
- 2 表示する連絡先の保存先を選択
 - 表示する連絡先のグループを指定するには、[カスタマイズ] ▶ 連絡先の保存先をタップ ▶ 表示するグループにチェックを入れる ▶ 【OK】 をタップします。
 - [すべての連絡先] をタップすると、登録されているすべての連絡先を表示します。

オプションメニューを利用する

- 1 ホーム画面で ▶ 「」タブをタップ ▶ 連絡先一覧画面 / 連絡先詳細画面で を押す

■ 連絡先一覧画面

表示する連絡先	P.57				
インポート/エクスポート	P.58				
アカウント	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>アプリのデータを自動同期</td> <td>「連絡帳」アプリとGoogleアカウントの連絡先を同期させるかどうかを設定します。</td> </tr> <tr> <td>(アカウント名)※</td> <td>Googleアカウントと本端末で同期させるデータの種類を設定します。</td> </tr> </tbody> </table>	アプリのデータを自動同期	「連絡帳」アプリとGoogleアカウントの連絡先を同期させるかどうかを設定します。	(アカウント名)※	Googleアカウントと本端末で同期させるデータの種類を設定します。
アプリのデータを自動同期	「連絡帳」アプリとGoogleアカウントの連絡先を同期させるかどうかを設定します。				
(アカウント名)※	Googleアカウントと本端末で同期させるデータの種類を設定します。				

※ Googleアカウントを設定している場合に 표시됩니다。

■ 連絡先詳細画面

編集	P57
共有	表示している連絡先をBluetooth機能やEメールなどを使って送信します。
削除	表示している連絡先を1件削除します。
着信音を設定	表示している連絡先の着信音を設定します。
ボイスメールへ転送	表示している連絡先の相手からかかってきた電話を、留守番電話センターに転送するかどうかを設定します。
ホーム画面に配置	ホーム画面に連絡先ウィジェットを追加します。

プロフィールを確認して情報を編集する

- 1 ホーム画面で ▶ 「」タブをタップ
- 2 連絡先一覧画面でプロフィール名をタップ ▶ ▶ 【編集】
 - ・プロフィールが設定されていない場合は、連絡先一覧画面で「プロフィールを設定」をタップします。
- 3 プロフィール登録画面で名前などの必要な項目を入力
- 4 【完了】

📌 お知らせ

- ・初期設定でGoogleアカウントを設定すると、Googleアカウントの名前がプロフィールに設定されます。

連絡先をエクスポート／インポートする

内部ストレージやmicroSDカードへ連絡先をエクスポート／インポートできます。エクスポートした情報は、別の電話に移行する場合などに役立ちます。

- ・オンラインの同期サービスでも連絡先などを同期できます (P.89)。
- ・あらかじめmicroSDカードを本端末に取り付けておきます (P.106)。

- 1 ホーム画面で ▶ 「」タブをタップ ▶ ▶ 【インポート／エクスポート】
- 2 項目を選択
 - ・以降は画面の指示に従って操作してください。

📌 お知らせ

- ・Googleアカウントの連絡先データをBluetooth通信やメールなどで送信するには、手順2で「表示可能な連絡先を共有」▶送信するアプリを選択します。

メッセージ (SMS)

SMS (ショートメッセージサービス) を使用して、本端末でSMSを送受信することができます。1つのメッセージで送信できる文字数は、ご契約の通信事業者と言語によって異なります。

メッセージ (SMS) を送信する

- 1 ホーム画面で ▶ [メッセージ]
- 2 (新規作成)
- 3 送信相手の電話番号を入力
 - ・連絡先に登録した名前や電話番号を入力すると入力候補が表示され、タップすると宛先が入力されます。
- 4 [メッセージを入力] ▶ 本文を入力
- 5 ▶

メッセージ (SMS) を読む

送受信したメッセージ (SMS) は、宛先／送信者ごとにスレッド表示されます。

- 1 ホーム画面で ▶ [メッセージ]
 - ・未読のメッセージ (SMS) がある送信者は太字で表示されます。
- 2 読みたいメッセージ (SMS) の送信者を選択

お知らせ

- ・メッセージ (SMS) を受信すると、ステータスバーに が表示されます。ステータスバーを下にドラッグすると、受信したメッセージ (SMS) を確認できます。
- ・絵文字が入力されたメッセージ (SMS) を受信した場合は、絵文字が正しく表示されない場合があります。

メッセージ (SMS) の電話番号を連絡先に保存する

- 1 ホーム画面で ▶ [メッセージ]
- 2 電話番号を保存する送受信者の ▶ [OK]
- 3 [新しい連絡先を作成]
 - ・登録済みの連絡先に追加登録する場合は、追加登録する連絡先をタップ ▶ [OK] をタップします。
- 4 連絡先登録画面で名前などの必要な項目を入力
 - ・連絡先の登録については、「連絡先を登録する」(P.55) をご参照ください。
- 5 [完了]

お知らせ

- ・すでに連絡先に登録されている送受信者の場合は、手順2で や写真 (画像) 部分をタップすると、電話をかけたり、連絡先を表示したりできます。
- ・手順2で登録するメッセージ (SMS) の送受信者を選択 ▶ ▶ [連絡帳アプリに追加] をタップしても、電話番号を連絡先に保存できます。

メッセージ (SMS) 本文を削除する

- 1 ホーム画面で ▶ [メッセージ]
- 2 削除するメッセージ (SMS) の送受信者を選択
- 3 削除するメッセージ (SMS) 本文をロングタッチ
- 4 [削除] ▶ [削除]

メッセージ (SMS) を送受信者ごとに削除する

- 1 ホーム画面で ▶ [メッセージ]
- 2 削除する送受信者をロングタッチ
- 3 (削除) ▶ [削除]

お知らせ

- 手順2で削除する送受信者を選択 ▶ ▶ [スレッドを削除] ▶ [削除] をタップしても、送受信者を削除できます。
- すべての送受信者を削除するには、手順2で ▶ [すべてのスレッドを削除] ▶ [削除] をタップします。

メッセージ (SMS) の設定を変更する

- 1 ホーム画面で ▶ [メッセージ]
- 2 ▶ [設定]

ストレー ジ	古いメッセージ を削除	「テキストメッセージの制限件数」「マルチメディアメッセージの制限件数」で設定した件数を超えたときに、古いメッセージを自動的に削除するかどうかを設定します。
	テキストメッ セージの制限件 数	メッセージ (SMS) の制限件数を設定します。
	マルチメディア メッセージの制 限件数	マルチメディアメッ セージの制限件数を設定します。
テキスト メッセー ジ (SMS)	受取確認通知	送信するメッセージ (SMS) の受取確認を毎回要求するかどうかを設定します。

マルチメディアメッセージ (MMS)	グループメッセージング	宛先が複数ある場合にMMSを使用して1通のメッセージとして送信するかどうかを設定します。
	受取確認通知	送信するMMSの受取確認を毎回要求するかどうかを設定します。
	開封確認レポート	送信するすべてのMMSの開封確認レポートを要求するかどうかを設定します。
	自動で取得	MMSを自動的に取得するかどうかを設定します。
	ローミング時に自動取得	ローミング時にMMSを自動的に取得するかどうかを設定します。
通知	通知	新着メッセージの通知をステータスバーに表示するかどうかを設定します。
	着信音	受信した場合の着信音を設定します。
	バイブレーション*	受信した場合に振動でお知らせするかどうかを設定します。




* マナーモード (ミュート) に設定中は、メッセージ (SMS) を受信しても振動しません。

メール

一般のISP (プロバイダ) が提供するPOP3やIMAPに対応したEメールアカウント、Exchange ActiveSyncアカウントなどを設定して、Eメールを送受信できます。複数のEメールアカウントを設定することもできます。

Eメールの初期設定をする

Eメールアカウントを画面の指示に従って設定します。

- 1 ホーム画面で** 
 - 2件目以降のEメールアカウントを設定する場合は、ホーム画面で  ▶  ▶ [設定] ▶ [アカウントを追加] をタップします。
- 2 Eメールアドレスとパスワードを入力**
 - 2件目以降のEメールアカウントの設定からは、必要に応じて「いつものアカウントでメールを送信」にチェックを入れます。
- 3 [次へ]**
 - Eメールを手動で設定する場合は、[手動セットアップ] をタップし、画面の指示に従って設定してください。

4 確認頻度を設定 ▶ 必要な項目にチェックを入れる ▶ [次へ]

- アカウントのタイプを選択する画面が表示された場合は、設定するEメールアカウントの種類をタップし、画面の指示に従って設定してください。

5 アカウントの名前と送信Eメールに表示される名前を入力 ▶ [次へ]

- 設定したEメールアカウントの受信トレイが表示されます。

お知らせ


- 設定を手動で入力する必要がある場合は、Eメールサービスプロバイダまたはシステム管理者に、正しいEメールアカウント設定を問い合わせてください。
- EメールアカウントにExchange ActiveSyncアカウントを設定した場合、サーバー管理者がリモートワイプを設定していると、本端末内のデータが消去されることがあります。

Eメールを作成して送信する

1 ホーム画面で

2 (作成)



3 送信相手のEメールアドレスを入力

- 連絡先に登録した名前やEメールアドレスを入力すると入力候補が表示され、タップすると宛先が入力されます。
- 複数のEメールアドレスを文字で直接入力する場合は、カンマ (,) で区切って次のEメールアドレスを入力します。
- CcまたはBccを追加する場合は、 ▶ [Cc/Bccを追加] をタップします。



4 件名や本文を入力

5 (送信)






お知らせ

- ファイルを添付する場合は、Eメール作成中に ▶ [ファイルを添付] をタップし、ファイルを添付します。
- Eメールを下書き保存するには、Eメール作成中に ▶ [下書きを保存] をタップするか、他の画面を表示します。
- Eメールは、パソコンからのメールとして扱われます。受信する端末でパソコンからのEメール受信を拒否する設定を行っていると、Eメールを受信できません。


Eメールを受信して読む

- 1 ホーム画面で** 
 - 複数のEメールアカウントを設定している場合は、[受信トレイ] ▶ 受信するEメールアカウントを選択します。
- 2 受信トレイで**  (更新)
- 3 読みたいEメールをタップ**







お知らせ

- 受信したEメールの送信者名は、送信側で設定している名前が表示されます。
- Eメールアカウントの設定 (P.64) で「メール着信通知」を設定し、「受信トレイの確認頻度」を「自動確認しない」以外に設定している場合、新しいEメールの受信をお知らせする  がステータスバーに表示されます。ステータスバーを下にドラッグすると、受信したEメールを確認できます。
- 受信トレイやEメール本文の画面で  /  をタップすると、 /  のスターが付き、Eメールが「スター付き」フォルダに追加されます。スターを付けたEメールを一覧で確認するには、受信トレイで [受信トレイ] ▶ [すべてのフォルダを表示] ▶ [スター付き] をタップします。


Eメールの添付ファイルを保存する

- 1 ホーム画面で** 
- 2 添付ファイル付きのEメールをタップ**
- 3 [添付ファイル] ▶ 保存したいファイルの [保存]**
 - 添付ファイルは内部ストレージに保存されます。
 - 添付ファイルがダウンロードされていない場合は、[読み込み] をタップします。
 - 添付ファイルを開くアプリが本端末にインストールされていない場合は、「詳細」と表示されます。



Eメールを返信／転送する

- 1 ホーム画面で** 
- 2 返信または転送するEメールをタップ**  
 - 全員に返信する場合は  ▶ [全員に返信]、転送する場合は  ▶ [転送] ▶ 転送先のEメールアドレスを入力します。
- 3 本文を入力**
- 4  (送信)**


お知らせ

- 元のEメールの内容を引用するには、「元のメッセージを挿入」にチェックを入れます。
- Eメールを転送すると、元のEメールの添付ファイルが添付されます。添付ファイルを削除するには、をタップします。



Eメールを削除する

- 1 ホーム画面で
- 2 削除するEメールをタップ
- 3  (削除)

お知らせ

- 複数のEメールを削除するには、手順2で複数のEメールにチェックを入れる▶ (削除) をタップします。

Eメールアカウントの設定を変更する

- 1 ホーム画面で
- 2  ▶ **【設定】**
- 3 **設定を変更するEメールアカウントをタップ**

アカウント名	アカウント名を変更します。
名前	あなたの名前 (差出人名) を変更します。
署名	署名を変更します。
クイック返信	Eメール作成時に挿入できる定型文を登録します。

優先アカウントにする	Eメールを作成するときの優先アカウントにするかどうかを設定します。	
データ使用	受信トレイの確認頻度	新着Eメールの自動確認の有無や自動確認の間隔を設定します。
	添付ファイルのダウンロード※1	Wi-Fi接続時に添付ファイルを自動的にダウンロードするかどうかを設定します。
通知設定	メール着信通知	新着Eメールの通知をステータスバーに表示するかどうかを設定します。
	着信音を選択	受信した場合の通知音を設定します。
	バイブレーション※2	受信した場合に振動でお知らせするかどうかを設定します。
サーバー設定	受信サーバー／送信サーバーを設定します。	
アカウントの削除	Eメールアカウントを削除します。	

※1 Gmailのメールアドレス (@gmail.com) などを設定した場合に表示されます。

※2 マナーモード (ミュート) に設定中は、Eメールを受信しても振動しません。

お知らせ



- 設定できる項目は、アカウントの種類により異なります。
- 「受信トレイの確認頻度」を「自動確認しない」以外に設定すると、従量制データ通信をご利用の場合は、新着Eメールを確認するたびに課金が発生することがあります。
- 手順3で【全般】をタップすると、「メール」アプリ全体の設定を変更できます。

Gmail





Googleアカウントを設定すると、Gmailを使用してEメールを送受信できます。

- Googleアカウントを設定していない場合は、Googleアカウント設定画面が表示されます。画面の指示に従って設定します(P.102)。
- Googleアカウントを設定した後、Gmailを同期していない場合は、アカウントが同期していないことをお知らせする画面が表示されます。画面の指示に従って設定してください。


お知らせ

- Gmailについて詳しくは、ホーム画面で  ▶ [Gmail] ▶  ▶ [ヘルプ] をタップしてGmailのヘルプをご覧ください。



Gmailを送信する

- 1 ホーム画面で  ▶ [Gmail]
- 2  (作成)
- 3 **送信相手のEメールアドレスを入力**
 - 連絡先に登録した名前やEメールアドレスを入力すると入力候補が表示され、タップすると宛先が入力されます。
 - CcまたはBccを追加する場合は、 ▶ [Cc/Bccを追加] をタップします。
- 4 **件名や本文を入力**
- 5  (送信)

お知らせ

- 画像や動画などを添付する場合は、 ▶ [画像を添付] / [ファイルを添付] ▶ 添付するファイルを選択します。


Gmailを更新する


- 1 ホーム画面で  ▶ [Gmail]
- 2  ▶ [更新]
 - 本端末の「Gmail」アプリとGmailアカウントを同期させ、受信トレイを更新します。

Google Chrome




Google Chromeを利用して、パソコンと同じようにウェブページを閲覧できます。本端末では、パケット通信またはWi-Fiによる接続でGoogle Chromeを利用できます。

ウェブページを表示する

- 1 ホーム画面で**
 - 「Google Chrome利用規約」の同意画面が表示された場合は、[同意して続行] をタップします。続けてGoogle Chromeのログイン画面で [ログイン] / [スキップ] をタップします。
- 2 画面上部のウェブページのアドレス入力欄をタップ**
- 3 ウェブページのアドレスまたは検索する語句を入力**
 - アドレスや文字の入力に従って、一致するウェブページの候補が表示されます。
- 4 表示された候補の一覧またはソフトウェアキーボードの【実行】**
 - ウェブページを拡大／縮小するには、画面で2本の指を広げる／狭めるか、ダブルタップします（ウェブページによっては操作できません）。

- 前のページに戻るには、 を押します。

お知らせ

- ウェブページでテキストをコピーするには、コピーしたいテキストをロングタッチ▶ または をドラッグしてコピーするテキストの範囲を選択▶ (コピー) をタップします。

新しいタブを追加する

複数のタブを開き、ウェブページの閲覧ができます。

- 1 ホーム画面で**▶▶**【新しいタブ】**
- 2 ウェブページを表示**

シークレットタブを開く




閲覧履歴や検索履歴を残さずに、ウェブページの閲覧ができます。

- 1 ホーム画面で**▶▶**【新しいシークレットタブ】**
- 2 ウェブページを表示**





お知らせ

- シークレットタブでは、アドレス入力欄の周囲が濃い青色になります。
- シークレットタブで開いたウェブページは履歴に残りません。タブを閉じるとCookieなどの記録も消去されます。ダウンロードしたファイルやブックマークしたウェブページはシークレットタブでも保存されます。





タブを切り替える

- 1 ホーム画面で   ▶ 表示したいタブをタップ
 -  の数字は、開いているタブの数により異なります。


タブを閉じる

- 1 ホーム画面で   ▶ 閉じるタブの 
 - タブを左右にフリックしても閉じることができます。
 -  の数字は、開いているタブの数により異なります。

ウェブページでテキストを検索する

- 1 ホーム画面で   ▶ 【ページ内検索...】
- 2 検索する語句を入力
 -  /  をタップすると、前後の一致項目に移動します。

お知らせ

- 検索バーを閉じるには、 をタップします。

Google Chromeの設定を変更する

検索エンジンやプライバシーなどの設定ができます。

- 1 ホーム画面で   ▶ 【設定】
- 2 変更する項目を選択

リンクを操作する

ウェブページ内のリンクや画像をロングタッチすると、URLをコピーしたり、画像を保存したりできます。




お知らせ

- ウェブサイトによってはファイルなどのダウンロードができない場合があります。

ブックマークと履歴を管理する

履歴の確認やブックマークの保存などができます。

ウェブページをブックマークする

- 1 ホーム画面で  ▶ ブックマークするウェブページを表示
- 2  ▶ 
- 3 名前や保存先フォルダを設定 ▶ 【保存】

ブックマークを開く

1 ホーム画面で  ▶  ▶ **【ブックマーク】**

2 開くブックマークをタップ


お知らせ

- ブックマークをロングタッチすると、ブックマークの編集や削除などができます。

履歴を確認する


1 ホーム画面で  ▶  ▶ **【履歴】**

お知らせ

- 履歴を削除するには、履歴の  をタップします。
- 履歴をすべて削除するには、[閲覧履歴データの消去...] ▶ 「閲覧履歴の消去」にチェックを入れる ▶ [クリア] をタップします。

Playストア

Google Playを利用すると、便利なアプリや楽しいゲームに直接アクセスでき、本端末にダウンロード、インストールできます。

- Google Playのご利用には、Googleアカウントの設定が必要となります（P.102）。
- 有料アプリの購入、返品、払い戻し請求などについて詳しくは、ホーム画面で「Playストア」▶▶「ヘルプ」をタップしてGoogle Playのヘルプをご覧ください。

アプリをインストールする


1 ホーム画面で「Playストア」

- Google Play利用規約の同意画面が表示された場合は、「同意する」をタップします。

2 アプリを検索▶インストールしたいアプリをタップ

- 表示内容をよくご確認の上、画面の指示に従って操作してください。
- 多くの機能または大量のデータにアクセスするアプリには特にご注意ください。ダウンロードの操作を行うと、本端末でのこのアプリの使用に関する責任を負うこととなります。

お知らせ

- アプリのインストールは安全であることを確認の上、自己責任において実施してください。ウイルスへの感染や各種データの破壊などが発生する可能性があります。
- 万が一、お客様がインストールを行ったアプリなどにより各種動作不良が生じた場合、当社では責任を負いかねます。この場合、保証期間内であっても有料修理となります。
- お客様がインストールを行ったアプリなどにより自己または第三者への不利益が生じた場合、当社では責任を負いかねます。
- アプリによっては、自動的にパケット通信を行うものがあります。パケット通信は、切断するかタイムアウトにならない限り、接続されたままです。手動でパケット通信を切断するには、ホーム画面で▶「設定」▶「その他...」▶「モバイルネットワーク」▶「データ通信を有効にする」のチェックを外します。
- アプリによっては、自動的にアップデートが実行される場合があります。


アプリを削除する

1 ホーム画面で「Playストア」

- 初めて利用するときは、Google Play利用規約の同意画面で「同意する」をタップします。

2 画面左上の「Playストア」▶「マイアプリ」

3 削除したいアプリをタップ▶ [アンインストール] ▶ [OK]

- 有料アプリをアンインストールする場合は、払い戻し画面が表示されることがあります。詳しくは、ホーム画面で [Playストア] ▶  ▶ [ヘルプ] をタップしてGoogle Playのヘルプをご覧ください。

カメラ

写真や動画の撮影ができます。写真撮影は縦画面と横画面のどちらでも撮影できます。動画撮影は横画面での撮影に適しています。

始める前に

- 本端末で撮影した写真または動画は、すべて内部ストレージに保存されます。
- 本端末の温度が上昇すると、カメラが起動しない場合や、停止する場合があります。


著作権・肖像権について







お客様が本端末で撮影または録音したものは、個人で楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。また、他人の肖像や氏名を無断で使用、改変などすると、肖像権の侵害となる場合がありますので、そのようなご利用もお控えください。撮影したものをインターネットホームページなどで公開する場合も、著作権や肖像権には十分にご注意ください。なお、実演や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますので、ご注意ください。著作権に関わる画像の伝送は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外はご利用いたしませんので、ご注意ください。

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。


お客様が本端末を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為等を行う場合、法律、条例（迷惑防止条例等）に従い処罰されることがあります。

カメラを起動する

本端末は、カメラキー（)でカメラを起動できます。

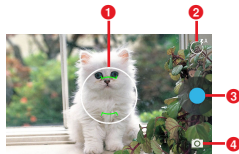
- 1  を1秒以上押す
 - 撮影画面が表示されます。
 - 初めて利用するときは、撮影場所を記録するかどうかの確認画面で [いいえ] / [はい] をタップします。
 - 撮影画面を切り替えるには、
  (写真撮影) /  (動画撮影) /  (パノラマ写真撮影) をタップします。撮影画面切替アイコン () は、表示中の撮影画面により異なります。

お知らせ

- ホーム画面で  [カメラ] をタップしても、カメラを起動できます。

撮影画面とキー操作

■ 写真撮影画面



- 1 フォーカス枠
- 2 メニューアイコン
- 3 シャッターアイコン
- 4 撮影画面切替アイコン

■ 動画撮影画面





- 1 メニューアイコン
- 2 撮影開始アイコン
- 3 撮影画面切替アイコン

■ パノラマ写真撮影画面




- 1 シャッターアイコン
- 2 撮影画面切替アイコン




■ キー操作

-  : シャッター
-  : カメラを終了

🔗 お知らせ

- パノラマ写真撮影画面の場合は、 を押しても撮影はできません。
- 静止画/動画撮影画面で2本の指を広げたり狭めたりすると、ズームイン/アウトできます。








写真を撮影する

- 1  を1秒以上押す
- 2  をタップまたは  を押す
 - 画面をタップするとフォーカス位置を調節できます。

🔗 お知らせ

- 撮影した写真は自動的に内部ストレージに保存されます。









動画を撮影する

- 1  を1秒以上押す▶▶
- 2  をタップまたは  を押す
 - 撮影が開始され、画面左上に撮影時間が表示されます。
- 3 撮影が終了したら  をタップまたは  を押す

🔗 お知らせ

- 撮影した動画は自動的に内部ストレージに保存されます。
- 動画撮影時は、送話口(マイク)を指などでふさがないようにしてください。


パノラマ写真を撮影する

- 1  を1秒以上押す▶▶
 - 2 
 - 画面下部に  が表示されます。
 - 3 撮影する方向に本端末を左/右方向に移動
 - 画面の指示に従って、本端末をゆっくりと移動してください。移動速度が速いと、「速すぎます」と表示されます。
 - 4 撮影が終了したら 
 - レンダリングが開始され、終了すると保存されます。
 -  がすべて青色になるまで本端末を移動すると、撮影が自動的に停止します。
- 🔗 お知らせ
- 撮影したパノラマ写真は自動的に内部ストレージに保存されます。
 - レンダリング中に  をタップすると、レンダリングがキャンセルされ、パノラマ写真撮影画面に戻ります。

撮影した写真／動画を確認する

1 写真撮影画面／動画撮影画面／パノラマ写真撮影画面で画面を左にフリック

2 アプリを選択

-  を押すと、撮影画面に戻ります。

撮影時の設定を変更する

写真撮影／動画撮影時の設定を変更します。


写真撮影の設定を変更する












1  を1秒以上押す▶

- 設定状況によりメニューアイコンは異なります。
- 設定メニューアイコンが表示されます。
- 画面をロングタッチしても、設定メニューアイコンが表示されます。





2 設定を変更










- 設定状況により設定メニューアイコンは異なります。

	HDR (High Dynamic Range) 機能を使用するかどうかを設定します。HDR機能を使用すると、露出の異なる複数枚の写真を1枚の写真に合成します。
---	--

	フラッシュを常に点灯させます。
	周囲の明るさに応じて自動的にフラッシュを点灯させます。
	フラッシュを点灯させません。
	 屋外（晴天）での撮影に適したホワイトバランスに設定します。
	ホワイトバランスを自動で調整しません。
	蛍光灯の下での撮影に適したホワイトバランスに設定します。
	白熱灯の下での撮影に適したホワイトバランスに設定します。
	撮影モードを「オート」「夜景」「パーティー」から選択して設定します。
位置情報を記録する	位置情報を記録するかどうかを設定します。
表示サイズ	写真の表示サイズを「8Mピクセル」「5Mピクセル」「3Mピクセル」「2Mピクセル」「VGA」から選択して設定します。
	露出補正（写真の明るさ）を調整します。
	インカメラ／アウトカメラを切り替えます。

動画撮影の設定を変更する

-  を1秒以上押す▶▶▶
 - 設定状況によりメニューアイコンは異なります。
 - 設定メニューアイコンが表示されます。
 - 画面をロングタッチしても、設定メニューアイコンが表示されます。
- 設定を変更**
 - 設定状況により設定メニューアイコンは異なります。

		フラッシュを点灯させません。
		フラッシュを常に点灯させます。
		屋外（晴天）での撮影に適したホワイトバランスに設定します。
		ホワイトバランスを自動で調整しません。
		蛍光灯の下での撮影に適したホワイトバランスに設定します。
		白熱灯の下での撮影に適したホワイトバランスに設定します。
	低速度撮影	低速度撮影を行うかどうかを設定します。オンにしたときは、間隔を設定できます。
	動画の画質	動画の画質を「HD 1080p」「HD 720p」「SD 480p」から選択して設定します。
	位置情報を記録する	位置情報を記録するかどうかを設定します。




インカメラ／アウトカメラを切り替えます。

ギャラリー

写真や動画を閲覧・再生できます。

写真／動画を表示する

- ホーム画面で** **【ギャラリー】**
 - Googleアカウントを設定していない場合は、Googleアカウント設定画面が表示されます。画面の指示に従って設定します (P.102)。

■ フォルダ一覧画面





- 表示の切り替え
 - タップして表示を「アルバム」／「ロケーション」／「時間」／「人物」／「タグ」に切り替えます。
- フォルダ名
 - フォルダ名は、切り替えた表示に対応した名称が表示されます。
- ファイルの保存件数

お知らせ

- 保存されている画像の枚数により、画面の読み込みに時間がかかる場合があります。

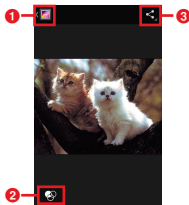
写真／動画を再生する






- 1 ホーム画面で ▶【ギャラリー】
- 2 フォルダ一覧画面でフォルダをタップ
- 3 ファイル一覧画面で写真／動画をタップ
 - 動画の場合は、続けて ▶アプリを選択します。

お知らせ

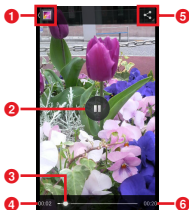
- ファイル一覧画面で画面左上のフォルダ名をタップすると、一覧の表示方法を変更できます。

写真再生画面



- 1 前の画面に戻る
- 2 編集メニュー
 - : モノクロやリトグラフなどの効果
 - : フレームの追加
 - : 傾き調整やトリミングなどの編集
 - : コントラストや彩度などの補正
 - 編集画面で【保存】をタップすると、編集した画像が別の画像ファイルとして保存されます。
 - 編集画面で  を押し、編集を元に戻す／やり直し／リセットの操作をしたり、履歴を表示したりできます。
- 3 共有メニュー
 - 画像ファイルをオンラインサービスにアップロードしたり、Bluetooth通信やメールなどで送信したりします。

■ 動画再生画面（動画プレーヤー）



- 1 前の画面に戻る
- 2 一時停止
- 3 再生位置
 - 左右にドラッグすると、再生位置を移動できます。
- 4 再生経過時間
- 5 共有メニュー
 - 動画ファイルをオンラインサービスにアップロードしたり、Bluetooth通信やメールなどで送信したりします。
- 6 動画の再生時間

📌 お知らせ

- 画像の表示を拡大／縮小するには、写真再生画面で2本の指を広げたり狭めたりします。
- メニューなどが表示されていない場合は、画面をタップすると表示されます。
- DRM管理コンテンツや転送するアプリにより共有が制限される場合があります。

写真

本端末で撮影した写真や動画を、Google+に自動的にバックアップできます。

1 ホーム画面で📷▶ [写真]

- 初めて利用するときは、ログイン画面で [ログイン] / [後で] をタップします。
- Googleアカウントを設定していない場合は、Googleアカウント設定画面が表示されます。画面の指示に従って設定します (P.102)。

📌 お知らせ

- Google写真について詳しくは、ホーム画面で 📷▶ [写真] ▶ [ヘルプ] ▶ [写真] 欄の各項目をタップしてGoogle写真のヘルプをご覧ください。

YouTube

YouTubeは無料オンライン動画ストリーミングサービスで、動画の再生、検索、アップロードができます。

- モバイルネットワーク接続を使用して動画コンテンツをダウンロード・アップロードする際に、パケット通信料が発生します。

YouTube動画を再生する

1 ホーム画面で▶▶ [YouTube]

- Googleアカウントを設定していない場合は、Googleアカウント設定画面が表示されます。画面の指示に従って設定します (P.102)。

2 動画をタップして再生

- 🔍をタップすると動画を検索できます。

📌 お知らせ

- 検索履歴を消去するには、手順2で [☰] ▶ [設定] ▶ [検索] ▶ [検索履歴を消去] ▶ [OK] をタップします。

位置情報サービスについて

GPS機能やWi-Fi機能、モバイルネットワークを使用して現在地を測位できます。

GPS機能

本端末には、衛星信号を使用して現在地を算出するGPS受信機が搭載されています。いくつかのGPS機能は、インターネットを使用します。データの転送には、課金が発生する場合があります。

現在地の測位にGPS機能を使用するときは、空を広く見渡せることを確認してください。数分経過しても現在地を測位できない場合は、別の場所に移動する必要があります。測位しやすくするために、動かず、GPSアンテナ部 (P.26) を覆わないようにしてください。GPS機能を初めて使用するときは、現在地の測位に最大で10分程度かかることがあります。

- GPSシステムのご利用には十分注意してください。システムの異常などにより損害が生じた場合、当社では一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。
- 本端末の故障、誤動作、異常、あるいは停電などの外部要因（電池切れを含む）によって、測位（通信）結果の確認などの機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

- 本端末は、航空機、車両、人などの航法装置として使用できません。そのため、位置情報を利用して航法を行うことによる損害が発生しても、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 高精度の測量用GPSとしては使用できません。そのため、位置の誤差による損害が発生しても、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 衛星利用測位（GPS）は、米国防省により構築され運営されています。同省がシステムの精度や維持管理を担当しています。このため、同省が何らかの変更を加えた場合、GPSシステムの精度や機能に影響が出ることがあります。
- ワイヤレス通信製品（携帯電話やデータ検出機など）は、衛星信号を妨害する恐れがあり、信号受信が不安定になることがあります。
- 各国・地域の法制度などにより、取得した位置情報（緯度経度情報）に基づく地図上の表示が正確でない場合があります。

■ 受信しにくい場所

GPSは人工衛星からの電波を利用しているため、以下の条件では、電波を受信できない、または受信しにくい状況が発生しますのでご注意ください。


- 建物の中や直下
- かばんや箱の中
- 密集した樹木の中や下
- 自動車、電車などの室内
- 本端末の周囲に障害物（人や物）がある場合
- 地下やトンネル、地中、水中
- ビル街や住宅密集地
- 高圧線の近く
- 大雨、雪などの悪天候

✓注意

- 一部、または全部のGPS機能を使用できない場合は、契約内容にインターネットの利用が含まれていることをご確認の上、「無線とネットワーク」(P.86)をご参照ください。
- 当社はナビゲーションサービスに限らず、いずれの位置情報サービスの正確性も保証しません。

GPS機能／位置情報サービスをオンにする

GPS機能やWi-Fi機能、モバイルネットワーク基地局からの情報をもとにした現在地の特定などができます。

- 1 ホーム画面で ▶ **【設定】**
- 2 **【位置情報アクセス】**
- 3 **「位置情報にアクセス」の【OFF】をタップまたは右にドラッグ**
- 4 **位置情報についての同意文を読んで【同意する】**

お知らせ

- Google位置情報サービスにより、個人を特定しない形で位置情報が収集されます。なお、アプリが起動していない場合でも位置情報を収集することがあります。
- 「GPS機能」と「Wi-Fi／モバイル接続時の位置情報」は個別に設定できます。

Googleマップを使用する

Googleマップを利用して、現在地の表示や別の場所の検索、経路の検索などができます。




- Googleマップを利用するには、データ通信可能な状態（LTE/3G/GSM）にあるか、Wi-Fi接続が必要です。
- Googleマップは、すべての国や地域を対象としているわけではありません。
- LTE/3G/Wi-Fiの接続のみでは、現在位置が検出されない場合があります。

✓注意

- 付属のACアダプタやUSBケーブル（市販品）などを接続した場合、接続機器の磁気の影響し、地磁気センサーが正常に動作しないことがあります。ケーブル類を外してご使用ください。
- 方位計は、地球の微小な磁場を感知して方位を算出しています。以下の場所では、計測の障害になったり、誤差が大きくなる場合がありますので、それらが無い場所に移動してから計測してください。
 - 建物（特に鉄筋コンクリート造り）、大きな金属の物体（電車、自動車）、高圧線、架線など、金属（鉄製の机、ロッカーなど）、家庭電化製品（テレビ、パソコン、スピーカーなど）、永久磁気（磁気ネックレスなど）
- 地磁気の弱い場所では方位計測に影響する場合があります。

地図上で現在地を検出する



位置情報サービスを利用して現在地を検出できます。

- 現在地を検出するには、あらかじめ「位置情報にアクセス」をオンに設定し (P.79)、Google アプリに位置情報へのアクセスを許可する必要があります。Google アカウントを設定している場合は、ホーム画面で  ▶ [設定] ▶ [Google] ▶ [位置情報の設定] をタップして設定します。Google アカウントを設定していない場合は、ホーム画面で  ▶ [マップ] ▶  ▶ [設定] ▶ [Google 現在地設定] をタップして設定します。

1 ホーム画面で ▶ [マップ]

- メッセージが表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

2

- 現在地が青い印で表示されます。
-  をタップすると、アイコンが  に変わり、本端末の地磁気コンパスと地図上で表示される方角が連動します。
- 地図を拡大／縮小するには、マップ画面で2本の指を広げる／狭めるか、画面をダブルタップ／2本の指でタップします。

ストリートビューを見る

1 ホーム画面で ▶ [マップ]

2 ストリートビューで表示したい地点をロングタッチ▶画面下部に表示された情報をタップ

3 [ストリートビュー]

場所を検索する

1 ホーム画面で ▶ [マップ]

2 検索バーに検索する場所を入力

3 表示された候補の一覧またはソフトウェアキーボードの

情報を表示する

地図上に交通情報などの情報を表示できます。

1 ホーム画面で ▶ [マップ]

2 ▶ 表示する情報を選択


ナビゲーションをする

目的地への詳しい道案内を取得できます。

1 ホーム画面で ▶ [マップ]


2 ▶ 移動の方法を選択

3 上の入力欄に出発地を入力▶下の入力欄に目的地を入力


- 4 表示された候補の一覧またはソフトウェアキーボードの 

カレンダー



カレンダーを表示する

- 1 ホーム画面で  ▶ **【カレンダー】**
- 2 画面左上の **【2014年×月】 ▶ 【日】 / 【週】 / 【月】 のいずれかをタップ**
 - Googleアカウントを設定していない場合は、Googleアカウント設定画面が表示されます。画面の指示に従って設定します (P.102)。
 - カレンダー部分を上下/左右にフリックすると、前後の月や週、日を表示します。
 - **【予定リスト】** をタップすると、予定の一覧を表示します。


お知らせ

- 現在の日付にカーソルを移動したい場合は、 (数字は当日の日付が表示されます) をタップします。




カレンダーの予定を作成する

- 1 ホーム画面で  ▶ **【カレンダー】**
- 2  ▶ **【予定を作成】 ▶ 項目を入力**
- 3 **【完了】**



お知らせ

- カレンダーの通知を設定している場合は、設定時間になるとステータスバーに  が表示されます。ステータスバーを下にドラッグ▶ 予定の通知をタップすると、予定の詳細を表示することができます。[スヌーズ] をタップするとスヌーズが設定され、約5分後に再通知されます。


カレンダーの予定を表示する

- 1 ホーム画面で  ▶ **【カレンダー】 ▶ 予定のある日付/時間を表示**
 - 月表示の場合は、予定のある日付をタップします。
- 2 **詳細を表示する予定をタップ**
 - 予定を編集するには、 をタップします。
 - 予定を削除するには、 ▶ **【OK】** をタップします。

表示するカレンダーを設定する

- 1 ホーム画面で  ▶ **【カレンダー】**
- 2  ▶ **【表示するカレンダー】**
- 3 **表示するカレンダーの種類にチェックを入れる**

お知らせ

- 手順2で  ▶ **【設定】 ▶ 【全般設定】** をタップすると、カレンダーの表示設定や通知とリマインダの設定を変更できます。

時計

アラームや世界時計、ストップウォッチ、タイマーを利用できます。

アラームを設定する

- 1 ホーム画面で ▶ **【時計】** ▶
- 2 ▶ **時間を入力** ▶ **【OK】**
- 3 必要に応じて、ラベル、繰り返し、着信音、パイプレーションを設定
 - アラームを設定するとスタータスバーに が表示されます。

お知らせ

- アラームを削除するには、手順2で削除したいアラームをロングタッチ▶ ▶ **【OK】** をタップします。
- 手順2で ▶ **【設定】** をタップすると、アラームの消音までの時間やスヌーズの長さ、アラームの音量、アラーム鳴動時に を押したときの動作を設定できます。

アラームのオン／オフを切り替える

- 1 ホーム画面で ▶ **【時計】** ▶
- 2 **オン／オフを切り替えたいアラームの【OFF】／【ON】** をタップまたは左右にドラッグ

アラーム音を止める

- 1 アラームが鳴っているときに をロングタッチしたまま右の方向にドラッグ

お知らせ

- アラームが鳴っているときに をロングタッチしたまま左の方向にドラッグすると、スヌーズを設定します。

世界時計を利用する




世界各地の都市の時間を表示できます。

- 1 ホーム画面で ▶ **【時計】**
- 2 ▶ **追加したい都市にチェックを入れる** ▶ を押す



お知らせ

- 時計のスタイルを変更するには、手順2で ▶ **【設定】** ▶ **【スタイル】** ▶ **【アナログ】** / **【デジタル】** をタップします。
- 時差のある場所にいるときに自動的に自宅タイムゾーンの時計を追加するには、手順2で ▶ **【設定】** ▶ **「自宅の時計を自動表示」** にチェックを入れます。
- 自宅のタイムゾーンを変更するには、手順2で ▶ **【設定】** ▶ **【自宅タイムゾーン】** ▶ 設定したいタイムゾーンをタップします。
- 都市を削除するには、手順2で ▶ 削除したい都市のチェックを外します。



ストップウォッチを利用する

- 1 ホーム画面で▶【時計】▶
- 2 【開始】
 - をタップすることにより、ラップタイムを計測できます。
- 3 【停止】







お知らせ

- 計測をクリアするには、手順3の後にをタップします。
- 手順3の後にをタップすると、計測結果をBluetooth通信やメールなどで送信したり、クリップボードにコピーしたりします。


タイマーを利用する

- 1 ホーム画面で▶【時計】▶
- 2 計測時間を入力▶【開始】
- 3 アラームが鳴ったら【停止】

お知らせ

- 手順2の後に▶をタップすると、計測時間を1分追加します。
- 計測をクリアするには、手順3の後にをタップします。
- 計測を削除するには、手順2または手順3の後にをタップします。
- 計測のラベルを入力するには、手順2または手順3の後にをタップします。
- 計測を追加するには、手順2または手順3の後に▶計測時間を入力▶【開始】をタップします。

電卓

- 1 ホーム画面で▶【電卓】
- 2 キーをタップして計算
 - 入力した数字を削除するには、[削除]をタップします。
 - 計算結果を削除するには、[消去]をタップします。

お知らせ

- 電卓を左右フリックすると、標準機能/関数機能に切り替えます。

ドライブ

本端末に保存したデータを、Googleのオンラインサービス「Googleドライブ」に保存することで、パソコンなど他の機器からデータの整理や編集をしたり、データの共有をしたりすることができます。

- Googleアカウントを設定していない場合は、Googleアカウント設定画面が表示されます。画面の指示に従って設定します (P.102)。

1 ホーム画面で 【ドライブ】

- 初めて利用するときは、Googleドライブの説明画面で [次へ] をタップして説明を確認し、[ドライブを使う] をタップします。

お知らせ

- Googleドライブについて詳しくは、ホーム画面で  ▶ 【ドライブ】 ▶  ▶ 【ヘルプ】 をタップしてGoogleドライブのヘルプをご覧ください。

省電力ナビ


省電力モードをオンにしたり、モバイルデータ通信を自動的に制御したりして、電池の消費を抑えることができます。

省電力モードをオンにする



利用する省電力モードを選択して、省電力モードをオンにします。

1 ホーム画面で【省電力ナビ】

2 【マイ省電力】 / 【省電力】

- 省電力モードを設定するとステータスバーに  が表示されます。
- 省電力モードをオフにするには、[OFF] をタップします。
- [マイ省電力] をタップした場合は、各項目をタップして各機能の設定を変更できます。
- [省電力] をタップした場合は、「すべてのデータ通信」のみタップして設定を変更できます。

お知らせ



- 各省電力モードについては、ホーム画面で [省電力ナビ] ▶  ▶ [モード説明] をタップして説明をご確認ください。
- 設定した電池残量になったときに自動的に省電力モードをオンにするには、ホーム画面で [省電力ナビ] ▶  ▶ [自動設定] ▶ [電池残量] ▶ 電池残量を選択します。設定した電池残量になると、省電力モードが自動的にオンになり、省電力モードON画面が表示されます。
- 省電力モードがオンのとき、ステータスバーを下にドラッグ▶省電力モードの通知の [省電力OFF] をタップしても、省電力モードをオフにできません。
- 「自動設定」がオンに設定されている場合は、手順2の「省電力」は「省電力AUTO」と表示されません。

オート通信制御を設定する

7日間以上使用していないアプリがバックグラウンドで行うモバイルデータ通信を自動的に制限して、電池の消費を抑えます。

- 1** **ホーム画面で [省電力ナビ] ▶ 「オート通信制限」タブをタップ**
 - 初めて利用するときは、オート通信制御の説明画面が表示されます。説明を確認し、[OK] をタップします。
- 2** **「オート通信制御」にチェックを入れる ▶ 確認画面で [OK]**
 - 対象アプリのバックグラウンド通信を無効にするには、無効にするアプリにチェックを入れます。チェックを外すと、バックグラウンド通信は有効になります。

お知らせ


- オート通信制御については、ホーム画面で [省電力ナビ] ▶ 「オート通信制限」タブをタップ ▶  ▶ [説明] をタップして説明をご確認ください。
- アプリの起動回数や自動制限をクリアするには、ホーム画面で [省電力ナビ] ▶ 「オート通信制限」タブをタップ ▶  ▶ [設定クリア] ▶ [OK] をタップします。

設定メニューを表示する

1 ホーム画面で ▶【設定】

無線とネットワーク	P.86
端末	P.93
ユーザー設定	P.97
アカウント	P.102
システム	P.103

お知らせ

- ホーム画面またはアプリ画面で ▶ [システム設定] をタップしても、設定メニューを表示できません。

無線とネットワーク

Wi-Fi	P.86	
Bluetooth	P.107	
データ使用	P.89	
その他...	機内モード	P.90
	VPN	P.90
	テザリングとポータブルアクセスポイント	P.91
	NFC	P.109
	Androidビーム	P.109
	モバイルネットワーク	P.92

Wi-Fi

Wi-Fi機能を利用して、自宅や社内ネットワーク、公衆無線LANサービスのアクセスポイントに接続して、メールやインターネットを利用できます。

- Wi-Fiがオンのときでもパケット通信を利用できます。ただしWi-Fiネットワーク接続中は、Wi-Fiが優先されます。
- Wi-Fiネットワークが切断された場合には、自動的にLTE/3G/GSMネットワークモードでの接続に切り替わります。切り替わったままご利用される場合は、パケット通信料が発生する場合がございますのでご注意ください。
- Wi-Fi機能を使用しないときは、オフにすることで電池の消費を抑制できます。

Wi-Fiを使用する前に

Wi-Fi機能を使用するには、Wi-Fiをオンにしてから利用可能なWi-Fiネットワークを検索して接続します。

- Wi-Fi機能を使用してインターネットへ接続する場合、事前にWi-Fiネットワークへの接続を行ってください。

お知らせ

- Wi-Fi機能を使用するときには十分な電波強度が得られるようご注意ください。Wi-Fiネットワークの電波強度は、お使いの本端末の位置によって異なります。Wi-Fiルーターの近くに移動すれば、電波強度が改善されることがあります。

■ Bluetooth機器との電波干渉について

Bluetooth機器と無線LAN

(IEEE802.11b/g/n) は同一周波数 (2.4GHz) を使用するため、無線LANを搭載した機器の近くで使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になる場合があります。また、ストリーミングデータ再生時などで通信が途切れたり音声が乱れたりすることがあります。この場合、次の対策を行ってください。

- 本端末やワイヤレス接続するBluetooth機器は、無線LANと10m以上離してください。
- 10m以内で使用する場合は、ワイヤレス接続するBluetooth機器の電源を切ってください。

Wi-Fiをオンにする

- 1 ホーム画面で  ▶ **【設定】** ▶ **「Wi-Fi」** の **【OFF】** をタップまたは右にドラッグ




お知らせ

- Wi-Fi接続がオンになるまで、数秒かかる場合があります。

Wi-Fiネットワークに接続する

- 1 ホーム画面で  ▶ **【設定】** ▶ **【Wi-Fi】**


- 2 **接続したいWi-Fiネットワークを選択**

- セキュリティで保護されたWi-Fiネットワークに接続する場合は、Wi-Fiネットワークのパスワードを入力▶ **【接続】** をタップします。
- WPS対応機器でWi-Fiネットワークに接続する場合は、 をタップするか、 ▶ **【WPS PIN入力】** をタップします。画面の指示に従って操作してください。
- Wi-Fiネットワークを手動でスキャンする場合は、 ▶ **【スキャン】** をタップします。

お知らせ



- Wi-FiをオフにしてWi-Fiネットワークを切断した場合、次回Wi-Fiのオン時に接続可能なWi-Fiネットワークがあるときは、自動的に接続されます。
- Wi-Fiネットワークへの接続が成功すると、「接続済み」と表示されます。異なるメッセージが表示された場合は、パスワード（セキュリティキー）をご確認ください。
なお、正しいパスワード（セキュリティキー）を入力しても接続できない場合は、正しいIPアドレスを取得できていないことがあります。電波状況をご確認の上、接続し直してください。
※ **【接続】** をタップしてからメッセージが表示されるまでに時間がかかる場合があります。

Wi-Fiネットワークから切断する

- 1 ホーム画面で  ► **【設定】** ► **【Wi-Fi】**
- 2 現在接続中のWi-Fiネットワークをタップ
- 3 **【切断】**

Wi-Fiネットワークを手動で追加する

• あらかじめWi-Fiをオンしておく必要があります (P.87)。

- 1 ホーム画面で  ► **【設定】** ► **【Wi-Fi】**
- 2  ► 追加するWi-FiネットワークのネットワークSSIDを入力
- 3 **【セキュリティ】** の設定項目をタップ ► 追加するWi-Fiネットワークのセキュリティタイプをタップ
- 4 必要に応じて、追加するWi-Fiネットワークのセキュリティ情報を入力
- 5 **【保存】**

オプションメニューを利用する

- 1 ホーム画面で  ► **【設定】** ► **【Wi-Fi】** ►  を押す

スキャン	P.87												
WPS PIN入力	P.87												
詳細設定	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>ネットワークの通知</td> <td>Wi-Fiオープンネットワークが利用可能なときに通知するかどうかを設定します。 • あらかじめWi-Fiをオンしておく必要があります (P.87)。</td> </tr> <tr> <td>スリープ時にWi-Fi接続を維持</td> <td>画面のバックライトが消灯したときのWi-Fi接続の状態を設定します。</td> </tr> <tr> <td>接続不良のとき無効にする</td> <td>Wi-Fiの電波が弱い場合や通信品質が悪い場合に、LTE/3G/GSMネットワークモードを使用するかどうかを設定します。</td> </tr> <tr> <td>Wi-Fi最適化</td> <td>Wi-Fiがオンのときに電池消費を抑えるかどうかを設定します。</td> </tr> <tr> <td>MACアドレス</td> <td>MACアドレスを確認できます。</td> </tr> <tr> <td>IPアドレス</td> <td>IPアドレスを確認できます。</td> </tr> </tbody> </table>	ネットワークの通知	Wi-Fiオープンネットワークが利用可能なときに通知するかどうかを設定します。 • あらかじめWi-Fiをオンしておく必要があります (P.87)。	スリープ時にWi-Fi接続を維持	画面のバックライトが消灯したときのWi-Fi接続の状態を設定します。	接続不良のとき無効にする	Wi-Fiの電波が弱い場合や通信品質が悪い場合に、LTE/3G/GSMネットワークモードを使用するかどうかを設定します。	Wi-Fi最適化	Wi-Fiがオンのときに電池消費を抑えるかどうかを設定します。	MACアドレス	MACアドレスを確認できます。	IPアドレス	IPアドレスを確認できます。
ネットワークの通知	Wi-Fiオープンネットワークが利用可能なときに通知するかどうかを設定します。 • あらかじめWi-Fiをオンしておく必要があります (P.87)。												
スリープ時にWi-Fi接続を維持	画面のバックライトが消灯したときのWi-Fi接続の状態を設定します。												
接続不良のとき無効にする	Wi-Fiの電波が弱い場合や通信品質が悪い場合に、LTE/3G/GSMネットワークモードを使用するかどうかを設定します。												
Wi-Fi最適化	Wi-Fiがオンのときに電池消費を抑えるかどうかを設定します。												
MACアドレス	MACアドレスを確認できます。												
IPアドレス	IPアドレスを確認できます。												

データ使用

モバイルデータ通信を有効／無効に設定したり、データ使用量の上限を設定したりできます。

モバイルデータ通信を有効にする

- 1 ホーム画面で ▶ **【設定】** ▶ **【データ使用】**
- 2 **【モバイルデータ】** の **【OFF】** をタップまたは右にドラッグ

データ使用量の上限を設定する

- 1 ホーム画面で ▶ **【設定】** ▶ **【データ使用】**
- 2 **【モバイルデータの制限を設定する】** ▶ **【注意文を読んで【OK】】**

お知らせ

- データ使用量が指定の上限に達した場合は、モバイルデータ通信が無効となります。ご注意ください。
- データ使用量の上限の設定値と、警告用の設定値は、グラフ内のそれぞれのバーの右端を上下にドラッグして変更します。


データの測定期間を設定する

- 1 ホーム画面で ▶ **【設定】** ▶ **【データ使用】**
- 2 **【データ使用サイクル】** の設定項目をタップ ▶ **【設定されている期間／【サイクルを変更...】】**
 - ・ **【サイクルを変更...】** をタップした場合は、毎月のリセット日を選択 ▶ **【設定】** をタップします。

オプションメニューを利用する



- 1 ホーム画面で ▶ **【設定】** ▶ **【データ使用】** ▶ を押す

データローミング	データローミングを許可するかどうかを設定します。
データを制限する	バックグラウンドのモバイルデータを制限するかどうかを設定します。
データの自動同期*	本端末にオンラインサービス上の情報を同期できます。本端末およびパソコンのどちらからでも情報を表示、編集できます。
Wi-Fi使用を表示する	Wi-Fiの使用状況を表示するかどうかを設定します。
モバイルアクセスポイント	特定のWi-Fiネットワークの利用を制限するように設定できます。


- ※ 同期するには、あらかじめ本端末にオンラインサービスのアカウント（Googleアカウントなど）を設定する必要があります。
自動同期するオンラインサービスの項目を変更するには、ホーム画面で  ▶ [設定] ▶ アカウントの種類を選択 ▶ 変更するアカウントを選択 ▶ 同期させる項目のみチェックを入れます。
自動同期を設定すると、同期するときに通信が発生し、パケット通信料がかかる場合があります。

機内モード

電話、インターネット接続（メールの送受信を含む）など、電波を発する機能をすべて無効にします。

- 1 ホーム画面で  ▶ [設定] ▶ [その他...]
- 2 「機内モード」にチェックを入れる
 - ・機内モードをオンに設定すると、ステータスバーに  が表示されます。

お知らせ

- ・  を1秒以上押す ▶ [機内モード] をタップしても、機内モードのオン/オフを設定できます。
- ・機内モードがオンの場合でもWi-FiやBluetooth機能、NFC機能をオンにすることができます。航空機内や病院など電波の使用を禁止された区域ではこれらの機能は使用しないよう注意してください。



VPN（仮想プライベートネットワーク）に接続する

仮想プライベートネットワーク（VPN：Virtual Private Network）を使うと、企業や学校などの保護されたローカルネットワーク内の情報に外部からアクセスできます。

お知らせ

- ・本端末からVPNアクセスを設定するには、ネットワーク管理者からセキュリティに関する情報を得る必要があります。

VPNを追加する

- 1 ホーム画面で  ▶ [設定] ▶ [その他...] ▶ [VPN]
 - ・注意文が表示された場合は、画面の指示に従って画面ロックの解除方法を設定してください（P.99）。
- 2 
- 3 編集画面が表示されたら、ネットワーク管理者の指示に従い、VPN設定の各項目を入力/設定
- 4 [保存]

お知らせ

- ・VPNを編集/削除するには、VPNをロングタッチ ▶ [プロフィールを編集] / [プロフィールを削除] をタップします。

VPNに接続する

- 1 ホーム画面で ▶ [設定] ▶ [その他...] ▶ [VPN]
- 2 接続するVPNをタップ
- 3 必要な認証情報を入力 ▶ [接続]
 - VPNに接続すると、接続中を示す がステータスバーに表示されます。

VPNを切断する

- 1 ステータスバーを下にドラッグ
- 2 VPN接続中を示す通知をタップ
- 3 [切断]

テザリングとポータブルアクセスポイント機能を利用する

テザリングとポータブルアクセスポイント機能を利用すると、本端末をモデムとして無線LAN対応機器またはBluetooth対応機器をインターネットに接続させることができます。

ポータブルWi-Fiアクセスポイントを有効にする

- 1 ホーム画面で ▶ [設定] ▶ [その他...] ▶ [テザリングとポータブルアクセスポイント]

- 2 「ポータブルWi-Fiアクセスポイント」にチェックを入れる

お知らせ

- モバイルデータ通信を無効にしている場合、または圏外の場合、モバイルネットワークを使用したポータブルWi-Fiアクセスポイント機能は利用できません。
- Wi-Fiネットワーク接続中に、ポータブルWi-Fiアクセスポイント機能を開始するとWi-Fi接続は切断されます。ポータブルWi-Fiアクセスポイント機能を終了すると自動的に接続されます。

Wi-Fiアクセスポイントを設定する

本端末をWi-Fiアクセスポイントとして利用し、無線LAN対応機器をインターネットに10台まで同時に接続できます。

- 1 ホーム画面で ▶ [設定] ▶ [その他...] ▶ [テザリングとポータブルアクセスポイント]
- 2 [Wi-Fiアクセスポイントを設定]
- 3 設定するWi-FiアクセスポイントのネットワークSSIDを入力
 - お買い上げ時は「SKT01」が設定されています。
- 4 「セキュリティ」の設定項目をタップ ▶ 設定するWi-Fiアクセスポイントのセキュリティタイプをタップ
- 5 [保存]


 お知らせ

- お買い上げ時はパスワードがランダムに設定されていますが、任意のパスワードに変更することもできます。

Bluetoothテザリングを有効にする

本端末をポータブルアクセスポイントとして利用し、5台のBluetooth対応機器をインターネットに接続できます。

- あらかじめBluetooth対応機器とペア設定を行う必要があります (P.108)。




- 1 ホーム画面で  ▶ **【設定】** ▶ **【その他...】** ▶ **【テザリングとポータブルアクセスポイント】**
- 2 **「Bluetoothテザリング」にチェックを入れる**

アクセスポイントを設定する


インターネットに接続するためのアクセスポイントを設定します。必要に応じて追加したり、変更したりできます。

- アクセスポイントの設定に必要な情報は、ご契約の通信事業者にお問い合わせください。



アクセスポイントを設定する

- 1 ホーム画面で  ▶ **【設定】** ▶ **【その他...】** ▶ **【モバイルネットワーク】** ▶ **【アクセスポイント名】**
- 2  ▶ **【新しいAPN】**
- 3 **【名前】** ▶ **任意の名前を入力** ▶ **【OK】**
- 4 **【APN】** ▶ **アクセスポイント名を入力** ▶ **【OK】**
- 5 **ご契約の通信事業者によって要求されているその他すべての情報をタップして入力**
- 6  ▶ **【保存】**
 - 使用するアクセスポイントの右側のラジオボタンにチェックが入っているかを確認します。

 お知らせ

- APN設定の際に、MCC/MNCを初期値(440/10)以外に変更すると、APN画面上に表示されなくなりますので、変更しないでください。APN画面上に表示されなくなった場合には、 ▶ **【初期設定にリセット】** または **【新しいAPN】** から再度APNの設定を行ってください。

アクセスポイントを初期化する

- 1 ホーム画面で  ▶ **【設定】** ▶ **【その他...】** ▶ **【モバイルネットワーク】** ▶ **【アクセスポイント名】**
- 2  ▶ **【初期設定にリセット】**

端末

音	P.93
ディスプレイ/ キー	P.94
ストレージ	P.95
電池	P.95
アプリ	P.95

音


音量	P.93
着信音	P.94
着信時のバイブレーション	着信時に本端末を振動させるかどうかを設定します。
デフォルトの通知音	P.94
ダイヤルパッドのタッチ操作音	ダイヤルパッドを操作したときの音を鳴らすかどうかを設定します。
タッチ操作音	メニューを選択したときの音を鳴らすかどうかを設定します。
画面ロックの音	画面ロック時に音を鳴らすかどうかを設定します。
タッチ操作バイブ	メニューを選択したときに、本端末を振動させるかどうかを設定します。

お知らせ







- マナーモードについては、「マナーモードを設定／解除する」(P.35)をご参照ください。

各種音量を調節する

メディア再生音、着信音と通知音、アラームの音量を調節します。

- 1** ホーム画面で  ► **[設定]** ► **[音]** ► **[音量]**
- 2** スライダーを左右にドラッグ
- 3** **[OK]**

お知らせ

- 「アラーム」の音量は、「時計」アプリの「アラームの音量」と連動しています (P.82)。
- 着信音の音量を   で調節する場合は、ホーム画面で   を押します。着信時に   を押すと、着信音を消音にすることができます。

着信音／通知音を設定する

- 1 ホーム画面で ▶ **【設定】** ▶ **【音】** ▶ **【着信音】** / **【デフォルトの通知音】**
- 2 **着信音または通知音を選択** ▶ **【OK】**

お知らせ

- ・「着信音と通知音」の音量をミュート（音量0）に設定している場合は、着信音や通知音を聴くことができません。

ディスプレイ／キー

画面の明るさ	P.94
壁紙	P.41
画面の自動回転	P.35
スリープ	画面のバックライトが消灯するまでの時間を設定します。
スクリーンセーバー	P.94
フォントサイズ	フォントサイズを設定します。
光を点滅させて通知	不在着信などの通知を着信／充電LEDの点滅でお知らせするかどうかを設定します。 通知／充電LEDは画面のバックライトが消灯しているときに動作します。
ダイレクトボタン	を1秒以上押したときの動作を設定します。

画面の明るさを調整する

- 1 ホーム画面で ▶ **【設定】** ▶ **【ディスプレイ／キー】** ▶ **【画面の明るさ】**
- 2 **スライダーを左右にドラッグ**
- 3 **【OK】**

お知らせ

- ・「明るさを自動調整」にチェックを入れると、手動で設定した明るさを基準に、周囲の明るさに応じて自動で明るさを調整します。

スクリーンセーバーを設定する

- 1 ホーム画面で ▶ **【設定】** ▶ **【ディスプレイ／キー】** ▶ **【スクリーンセーバー】**
- 2 **「スクリーンセーバー」の【OFF】をタップまたは右にドラッグ**
- 3 **表示したいスクリーンセーバーの種類を選択**
- 4 **【起動のタイミング】 ▶ 開始のタイミングを選択**
 - ・「今すぐ起動」をタップすると、スクリーンセーバーが起動します。

お知らせ

- ・スクリーンセーバーの種類 をタップすると、スタイルを変更したり、表示する画像のフォルダを選択したりできます。

ストレージ

内部ストレージ、microSDカードの容量を確認したり、microSDカードのデータの消去や暗号化をしたりすることができます。

内部ストレージ	合計容量	内部ストレージの空き容量などを確認します。
SDカード	合計容量	microSDカードの空き容量などを確認します。
	SDカードのマウント解除*	microSDカードの認識を解除して安全に取り外します。
	SDカードをマウント*	microSDカードを認識させます。
	SDカード内データを消去	microSDカードのデータ（音楽、写真など）をすべて消去します。
	SDカードを暗号化します	microSDカードを暗号化します。暗号化を行うと本端末でのみ利用できるようになります。

* microSDカードの認識状態により表示される項目は異なります。

お知らせ

- microSDカードの暗号化を行うと、microSDカードのデータがすべて消去されますのでご注意ください。
- microSDカードを暗号化すると、他の機器に取り付けて利用することができなくなります。使用する場合は、他の機器でmicroSDカードをフォーマットしてください。
- 内部ストレージの空き容量が少ない場合、次の操作を行うことで空き容量を増やすことができます。

- Google Chromeで、履歴を削除します (P.68)。
- 使用しないアプリをアンインストールします (P.96)。

電池

電池残量、充電状況、電池使用時間、各機能の電池使用状況を確認できます。

アプリ

インストールされたアプリの管理や削除、メモリの使用状況などを表示したり、設定を変更したりできます。

アプリ情報を確認する

- 1 ホーム画面で  ▶ **【設定】 ▶ 【アプリ】**
- 2 **表示したいアプリをタップ**

お知らせ

- [キャッシュを消去] をタップしてキャッシュを消去したり、[設定を消去] をタップしてアプリの起動時の設定を消去し、お買い上げ時の状態に戻したりすることもできます。

アプリを強制終了する

アプリが応答しない場合に、アプリを強制終了することができます。

- 1 ホーム画面で  ▶ **【設定】 ▶ 【アプリ】**
- 2 **強制終了したいアプリをタップ**

3 【強制停止】**4** 注意文を読んで【OK】 お知らせ

- アプリを強制終了したくないときには、[キャンセル] をタップしてアプリの応答を待ってください。

アプリのデータやアプリを削除する

- 削除する前にアプリに保存されているデータも含めて、保存しておきたいコンテンツはすべてバックアップしてください。

1 ホーム画面で▶【設定】▶【アプリ】**2** 削除したいアプリをタップ

- アプリのデータを削除したい場合は [データを消去] ▶ 注意文を読んで【OK】をタップします。
- アプリを削除したい場合は [アンインストール] ▶ 【OK】をタップします。

 お知らせ

- プリインストールされているアプリは削除（アンインストール）できない場合があります。アンインストールできない一部のアプリは無効化（P.96）することができます。
- Playストアから入手したアプリはGoogle Playの画面から削除（P.69）することをおすすめします。

アプリを無効化する

アンインストールできない一部のアプリやサービスを無効化することができます。無効化したアプリはホーム画面やアプリ画面に表示されず、実行もされなくなりますが、アンインストールはされません。

1 ホーム画面で▶【設定】▶【アプリ】**2** 画面を左にフリック▶「すべて」タブを表示**3** 無効化したいアプリをタップ**4** 【無効にする】**5** 注意文を読んで【OK】 お知らせ


- アプリを無効化した場合、無効化されたアプリと連携している他のアプリが正しく動作しない場合があります。再度有効化することで正しく動作します。

アプリの設定をリセットする

すべてのアプリの無効化（P.96）や、起動時の設定（P.95）、バックグラウンドデータの制限をリセットできます。

1 ホーム画面で▶【設定】▶【アプリ】**2** ▶【アプリの設定をリセット】**3** 【アプリをリセット】

お知らせ

- ホーム画面またはアプリ画面で ▶ [アプリの管理] をタップしても、アプリの管理画面を表示できます。


ユーザー設定

位置情報アクセス	P.97
セキュリティ	P.97
言語と入力	P.100
データの初期化	P.101

位置情報アクセス

位置情報にアクセス	P.79
GPS機能	GPSを使用して現在地の特定をアプリに許可するかどうかを設定します。
Wi-Fi／モバイル接続時の位置情報	Google検索の結果などを使用して、Googleが位置情報を使用することを許可するかどうかを設定します。

セキュリティ

画面のロック	P.99
顔認識の精度を改善 ^{*1}	フェイスアンロックでの解除時の顔認識精度を改善します。
生体検知 ^{*1}	フェイスアンロックでの解除時に、まばたきが必要かどうかを設定します。
パターンを表示する ^{*1}	パターン入力時にパターンを表示するかどうかを設定します。
自動ロック ^{*1}	画面のバックライトが消灯してから自動でロックがかかるまでの時間を設定します。
電源ボタンですぐにロックする ^{*1}	 を押すと、すぐに画面ロックがかかるようにするかどうかを設定します。
所有者情報	ロック画面に表示する所有者の情報を入力します。 「ロック画面に所有者情報を表示」にチェックを入れると、ロック画面に所有者の情報が表示されます。
端末の暗号化	内部ストレージを暗号化します。暗号化を行うと、電源を入れるたびにPINまたはパスワードの入力が必要になります。
SIMカードロック設定 ^{*2}	P.99
パスワードを表示する	PIN／パスワードの入力画面で、「・」が表示される前に入力した文字を表示するかどうかを設定します。
端末管理者	デバイス管理者を有効にするかどうかを設定します。

提供元不明のアプリ	提供元不明アプリをダウンロードする前にインストールを許可するかどうかを設定します。アプリによっては発行元が不明な場合もあります。本端末と個人データを保護するため、信頼できる発行元からのアプリのみダウンロードしてください。
アプリを確認する	損害をもたらす可能性のあるアプリのインストールを禁止したり、インストール前に警告したりするかどうかを設定します。
信頼できる認証情報	信頼できるCA証明書を表示します。
SDカードからインストール	microSDカードから証明書をインストールします。
認証ストレージの消去	認証情報ストレージ ^{※3} からすべての証明書や認証情報を消去します。 ^{※4}

- ※1 「画面のロック」の設定により表示される項目は異なります。
- ※2 microSIMカードを取り付けていない場合は表示されません。
- ※3 認証情報ストレージに証明書や認証情報を保管します。
- ※4 VPNの設定も削除されます。

お知らせ

- 端末の暗号化には時間がかかります。フル充電状態で充電しながら開始し、暗号化が完了するまで本端末の充電を継続してください。
- 端末の暗号化を解除するには、本端末をリセットし、お買い上げ時の状態に戻す必要があります (P.101)。

本端末で利用する暗証番号

本端末を便利にお使いいただくための各種機能には、暗証番号が必要なものがあります。本端末をロックするためのコードや暗証番号などがあります。用途ごとに上手に使い分け、本端末を活用してください。

■ 各種暗証番号に関するご注意

- 設定する暗証番号は「生年月日」「電話番号の一部」「所在地番号や部屋番号」「1111」「1234」などの他人にわかりやすい番号はお避けください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
- 暗証番号は他人に知られないように十分ご注意ください。万が一暗証番号が他人に悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いけません。

■ PINロック解除コード (PUKコード)

- PINロック解除コードは、PINコードがロックされた状態を解除するための8桁の番号で、ご契約の通信事業者から支給されます。なお、PINロック解除コードはお客様ご自身では変更できません。
- PINロック解除コードの入力を何回も連続して間違えると、microSIMカードがロックされます。その場合は、ご契約の通信事業者にお問い合わせください。

SIMカードロックを設定する

電源を入れたときにPINコードを入力することで、不正使用から保護できます。

- 1 ホーム画面で ▶ [設定] ▶ [セキュリティ] ▶ [SIMカードロック設定] ▶ [SIMカードロック]
- 2 PINコードを入力 ▶ [OK]

電源を入れたときにPINコードを入力する

- 1 PINコードの入力画面で、PINコードを入力 ▶ [OK]

PINコードを変更する

・SIMカードロックを設定しているときのみ変更できます。

- 1 ホーム画面で ▶ [設定] ▶ [セキュリティ] ▶ [SIMカードロック設定] ▶ [PINコードの変更]
- 2 現在のPINコードを入力 ▶ [OK]
- 3 新しいPINコードを入力 ▶ [OK]
- 4 もう一度新しいPINコードを入力 ▶ [OK]

画面ロックの解除方法を設定する

本端末の電源を入れたり、スリープモードから復帰したりするたびに画面ロックの解除が必要になることで、データを保護できます。

- 1 ホーム画面で ▶ [設定] ▶ [セキュリティ] ▶ [画面のロック]
- 2 設定したい解除方法をタップ
 - ・以降は画面の指示に従って操作してください。
 - ・[PIN] をタップした場合は、画面の指示に従って、4～16桁の数字を入力します。この「PIN」は、microSIMカードに設定されるPINコード (P.99) とは別のものです。

✓注意

- ・画面ロックの解除方法 (パターン、PIN、パスワード) はお忘れにならないようお気をつけください。

画面ロックをかける

画面ロックの解除方法を設定 (P.99) した後に、 を押してスリープモードにする、または自動的に画面のバックライトが消灯すると、画面ロックがかかります。

- ・画面ロックを解除する場合は、 を押して画面のバックライトを点灯 ▶ 画面ロックの解除方法を入力します。
- ・一度設定した画面ロックをかからない設定に戻す場合は、ホーム画面で ▶ [設定] ▶ [セキュリティ] ▶ [画面のロック] ▶ 現在のロック解除パターン / PIN / パスワードを入力 ▶ [なし] をタップします。「スライド」に設定している場合は、[画面のロック] をタップした後で [なし] をタップします。

ロック解除方法を間違えた場合

画面ロックの解除を5回続けて間違えると、入力を間違えた旨のメッセージが表示されません。[OK] をタップすると、30秒後に再試行できます。

■ 「パターン」を設定している場合

Googleアカウントを設定している場合、[パターンを忘れた場合] ▶Googleアカウントとパスワードを入力▶ [ログイン] をタップして画面ロックを解除し、新しくロック解除方法を設定し直すことができます。

- 複数のGoogleアカウントを設定している場合、そのいずれかのGoogleアカウントとパスワードを入力して画面ロックを解除できます。
- Googleアカウントやパスワードを忘れてしまった場合は、Googleのサイトから設定し直してください。

言語と入力

言語	使用する言語を変更します。
デフォルト	入力方法を選択します。
Google音声入力	P.49
iWnn IME	P.50
音声検索	P.100
テキスト読み上げの出力	P.101
ポインタの速度	マウスやトラックパッド使用時のポインタの速度を設定します。

音声検索を設定する

- 1 ホーム画面で  ▶ **【設定】** ▶ **【言語と入力】**
- 2 **【音声検索】**

言語	Google 音声検索時に入力する言語を設定します。
音声出力	音声出力について設定します。
不適切な語句をブロック	音声認識の不適切な結果を表示するかどうかを設定します。
オフラインの音声認識	オフライン時に利用するための音声認識データをダウンロードします。
Bluetoothヘッドセット	Bluetoothヘッドセットで音声を録音するかどうかを設定します。

テキスト読み上げを設定する

1 ホーム画面で  ▶ **【設定】** ▶ **【言語と入力】**

2 **【テキスト読み上げの出力】**

Pico TTS*	インストールされている音声合成エンジンについて設定します。
音声の速度	テキストを読み上げる速度を設定します。
サンプルを再生	音声合成の短いサンプルを再生します。

※ 日本語には対応していません。

データの初期化

データの初期化	P.101
---------	-------

本端末をリセットする

本端末をリセットすると、ダウンロードしたアプリを含むすべてのデータ、およびアカウントなどが削除され、本端末は初期状態（お買い上げ時の状態）に戻ります。

- 必ず本端末の重要なデータをバックアップしてから、本端末をリセットしてください。
- 初期設定について (P.33)

1 ホーム画面で  ▶ **【設定】** ▶ **【データの初期化】** ▶ **【データの初期化】** ▶ **【携帯端末をリセット】**

- 「SDカード内データを消去」にチェックを入れると、microSDカードのデータ（音楽、画像など）がすべて消去されます。
- 画面ロックの解除画面が表示された場合は、現在のロック解除パターン／PIN／パスワードを入力します。

2 **【すべて消去】**

アカウント

アカウントを設定する


オンラインサービスのアカウント管理（追加または削除）や、オンラインサービス上の連絡先やカレンダーなどの情報を本端末と同期させる設定をします。

- ・自動同期について（P.89）

Googleアカウントを設定する

Googleアカウントを本端末に設定し、GmailやGoogle PlayなどのGoogleサービスを利用できます。


なお、本端末には複数のGoogleアカウントを設定できます。

- 1 ホーム画面で  ▶ **【設定】 ▶ 【アカウントを追加】 ▶ 【Google】**
- 2 **登録ウィザードの説明に従って Googleアカウントを設定**



お知らせ

- ・Googleアカウントを設定しない場合でも本端末をお使いになれますが、Gmail、Google PlayなどのGoogleサービスがご利用になれません。
- ・設定したGoogleアカウントをタップして、各項目のデータを手動で同期できます。

その他のアカウントを設定する

- 1 ホーム画面で  ▶ **【設定】 ▶ 【アカウントを追加】**
- 2 **アカウントの種類をタップ**
 - ・以降は画面の指示に従って操作してください。

アカウントを削除する

- 1 ホーム画面で  ▶ **【設定】 ▶ アカウントの種類を選択 ▶ 削除したいアカウントを選択**
- 2  ▶ **【アカウントを削除】 ▶ 【アカウントを削除】**

システム


日付と時刻	P.103
ユーザー補助	P.103
端末情報	P.104


日付と時刻

- 日付、時刻、タイムゾーンを手動で設定する場合は、あらかじめ「日付と時刻の自動設定」「タイムゾーンを自動設定」のチェックを外してネットワーク自動設定を解除する必要があります。


日付と時刻の自動設定	ネットワーク上の日付・時刻情報を使って自動的に補正します。
タイムゾーンを自動設定	ネットワーク上のタイムゾーン情報を使って自動的に補正します。
日付設定	日付を手動で設定します。
時刻設定	時刻を手動で設定します。
タイムゾーンの選択	タイムゾーンを手動で設定します。
24時間表示	チェックを入れると24時間表示、チェックを外すと12時間表示となります。
日付形式の選択	日付の表示形式を選択します。

ユーザー補助

TalkBack ^{*1}	ユーザー補助サービス (TalkBack) を設定します。
拡大操作	画面を3回タップすると拡大／縮小するかどうかを設定します。
大きい文字サイズ	文字サイズを大きくするかどうかを設定します。
電源ボタンで通話を終了	[ >] を押して通話を終了するかどうかを設定します。
画面の自動回転	P.35
パスワードの音声出力	パスワードを音声で出力するかどうかを設定します。
ユーザー補助のショートカット ^{*2}	ショートカットを使用するかどうかを設定します。
テキスト読み上げの出力	P.101
押し続ける時間	画面をロングタッチして操作するときの反応速度を設定します。
ウェブアクセシビリティの拡張	Googleからスクリプトをインストールするかどうかを設定します。

- ※1 初めて「ユーザー補助」を選択した場合にTalkBackのダウンロード確認画面が表示され、[OK] をタップしてPlayストアからTalkBackをインストールすると表示されます。[キャンセル] をタップしてTalkBackをインストールしなかった場合は、「インストールされているサービスはありません」と表示されます。
- ※2  を1秒以上押し▶2本の指で画面をロングタッチするとユーザー補助機能を起動できます。

お知らせ

- 初めてTalkBackをオンにしたときは、タッチガイド機能をオンにするかどうかの確認画面が表示されます。
タッチガイド機能とは、タップした位置にあるアイテムの説明を読み上げたり、表示したりすることができる機能です。
タッチガイド機能をオンにすると、通常の操作とは異なった方法で本端末の操作ができます。項目を選択する場合は、一度タップしてからダブルタップします。ドラッグする場合は、一度タップしてからダブルタップして、そのまま指を離さずに目的の方向へなぞります。
タッチガイド機能のみをオフにする場合は、ホーム画面で  ▶ [設定] ▶ [ユーザー補助] ▶ [TalkBack] ▶ [設定] をタップし、「タッチガイド」のチェックを外します。

端末情報

ソフトウェアアップデート	P.118
端末の状態	自分の電話番号や電池の状態、電池残量などを確認できます。
法的情報	オープンソースライセンスやGoogle利用規約などを確認できます。
モデル番号	バージョンや各番号を確認できます。
Androidバージョン	
カーネルバージョン	
ビルド番号	

ストレージ構成

本体（内部ストレージ）

お買い上げ時に、内部ストレージに作成される主なフォルダは次のとおりです。

- 本端末の操作状況により、表示されるフォルダが異なる場合があります。

Android	システムや各種アプリの設定データ、一時ファイルなどが保存されます。
Download	Google Chromeでダウンロードしたデータが保存されます。
Movies	動画データが保存されます。
Music	音楽データが保存されます。
Pictures	スクリーンショットが保存されます。
Ringtones	着信音などが保存されます。

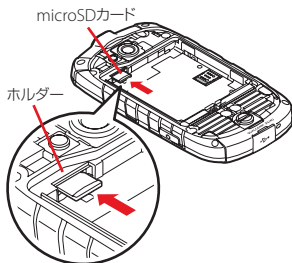
microSDカード（外部ストレージ）

本端末内のデータを microSD カードに保存したり、microSD カード内のデータを本端末に取り込んだりできます。microSD カードは互換性のある他の機器でも使用できません。

- 本端末では市販の2GBまでのmicroSDカード、32GBまでのmicroSDHCカードに対応しています（2014年3月現在）。
- 対応のmicroSDカードは各microSDカードメーカーへお問い合わせください。
- 本端末が対応しているmicroSDカードのスピードクラスは最大クラス10です。ただし、スピードクラスはmicroSDカードの性能であり、スピードクラスの性能のすべての動作を保証するものではありません。
- microSDカードを取り付け／取り外すときは、必ず本端末の電源を切ってから行ってください（P.32）。

microSDカードを取り付ける

- 1 背面カバーを取り外し、電池パックを取り外す**
 - 背面カバーの取り外しかた (P.22)
 - 電池パックの取り外しかた (P.29)
- 2 microSDカードの挿入方向を確認して、ホルダーにまっすぐゆっくと差し込む**
 - microSDカードの金属端子面を下にして差し込みます。

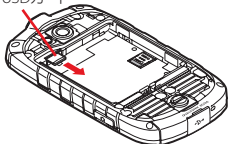


- 3 電池パックを取り付け、背面カバーを取り付ける**
 - 電池パックの取り付けかた (P.29)
 - 背面カバーの取り付けかた (P.22)

microSDカードを取り外す

- 1 背面カバーを取り外し、電池パックを取り外す**
 - 背面カバーの取り外しかた (P.22)
 - 電池パックの取り外しかた (P.29)
- 2 microSDカードをカチッと音がするまで奥に押し込み、microSDカードをゆっくり引き抜く**

microSDカード



- 3 電池パックを取り付け、背面カバーを取り付ける**
 - 電池パックの取り付けかた (P.29)
 - 背面カバーの取り付けかた (P.22)

Bluetooth機能

Bluetooth機能は、パソコンやハンズフリーヘッドセットなどのBluetooth機器とワイヤレス接続できる技術です。

- すべてのBluetooth機器とのワイヤレス通信を保証するものではありません。

お知らせ

- Bluetooth機能をオンにして本端末の電源を切ると、Bluetooth機能もオフになります。再度電源を入れると、Bluetooth機能は自動的にオンになります。
- Bluetooth機能を使用しないときは、オフすることで電池の消費を抑制できます。

■ 無線LAN対応機器との電波干渉について

本端末のBluetooth機能と無線LAN対応機器は、同一周波数帯（2.4GHz）を使用するため、無線LAN対応機器の近辺で使用すると電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になる場合があります。この場合、次の対策を行ってください。

- Bluetooth対応機器と無線LAN対応機器は、10m以上離してください。
- 10m以内で使用する場合は、Bluetooth対応機器または無線LAN対応機器の電源を切ってください。

本端末を検出可能にする

- 1 ホーム画面で  ▶ **【設定】**
- 2 **「Bluetooth」の【OFF】をタップまたは右にドラッグ**
 ・  がステータスバーに表示されます。
- 3 **【Bluetooth】 ▶ 端末のデバイス名をタップ**

オプションメニューを利用する


- 1 ホーム画面で  ▶ **【設定】** ▶ **【Bluetooth】** ▶ 

端末の名前を変更	他のBluetoothデバイスに表示される本端末の名前を変更します。
表示のタイムアウト	他のBluetoothデバイスから本端末が検出可能な時間を設定します。
受信済みファイルを表示	他のBluetoothデバイスとの転送履歴を表示します。

Bluetoothデバイスとペア設定する

本端末とBluetoothデバイスを接続するには、ペア設定が必要です。

- 一度ペア設定を行うと、ペア設定情報は記録されます。
- ペア設定を行うときに、パスコード (PIN) の入力が必要になる場合があります。本端末のパスコード (PIN) は「0000」です。「0000」を入力してもペア設定できない場合は、Bluetoothデバイスの取扱説明書をご覧ください。



- 1 ホーム画面で  ▶ **【設定】 ▶ 【Bluetooth】 ▶ 【デバイスの検索】**
 - 2 **ペア設定を行うBluetoothデバイス名をタップ ▶ 「Bluetoothのペア設定リクエスト」画面でパスコードを確認 ▶ 【ペア設定する】**
- **他のBluetoothデバイスから接続要求を受けた場合**

「Bluetoothのペア設定リクエスト」画面でパスコードを確認し、[ペア設定する] をタップします。

お知らせ

- ペア設定を行うデバイス側で、Bluetooth機能およびBluetooth検出機能がオンになっていることを確認してください。


Bluetoothデバイスのペア設定を解除する

- 1 ホーム画面で  ▶ **【設定】 ▶ 【Bluetooth】**
- 2 **ペア設定を解除したいBluetoothデバイス名の  ▶ 【ペアを解除】**

Bluetoothデバイスと接続する

- 1 ホーム画面で  ▶ **【設定】 ▶ 【Bluetooth】 ▶ 【デバイスの検索】**
- 2 **接続したいBluetoothデバイス名をタップ**

お知らせ

- 接続中のBluetoothデバイス名の  をタップすると、接続したBluetooth機器の状態を確認したり、設定を変更したりすることができます。
- 最大7台まで同時に接続できます。プロフィールによっては、正しく動作しない場合や、同時に接続できる台数が異なる場合があります。


Bluetoothデバイスの接続を解除する

- 1 ホーム画面で  ▶ **【設定】** ▶ **【Bluetooth】**
- 2 接続中のBluetoothデバイス名をタップ
- 3 **【OK】**
 - 再接続するときには、Bluetoothデバイス名をタップします。

Bluetooth機能でデータを送信する

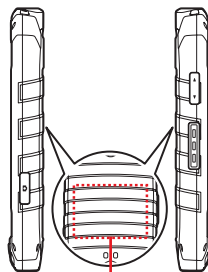
- 1 各アプリの共有メニューで **【Bluetooth】**
- 2 送信する相手のBluetoothデバイスをタップ

Bluetooth機能でデータを受信する

- 1 相手のBluetoothデバイスからデータを送信
 - ステータスバーに  が表示されます。
- 2 ステータスバーを下にドラッグ▶ **【Bluetooth共有：ファイル着信】** ▶ **【承諾】**

NFC通信

NFC (Near Field Communication) を搭載した携帯電話などの端末間で互いのNFCアンテナ部をかざすと、画面に表示したデータをAndroidビーム機能で送受信できます。




NFCアンテナ部

- Androidビームを利用するには、あらかじめAndroidビーム機能をオンに設定しておく必要があります。
- アプリによっては、Androidビームをご利用になれません。また、送受信できるデータはアプリによって異なります。
- すべてのAndroidビーム機能を搭載した端末との通信を保証するものではありません。

NFCモジュールが内蔵された機器など、対向機にかざす際の注意事項

- 本端末の裏側にあるNFCアンテナ部を対向機にゆっくりとかざしてください。
- NFCアンテナ部を対向機にかざす際に、強くぶつけないようにご注意ください。
- NFCアンテナ部は対向機の中心に平行になるようにかざしてください。
- NFCアンテナ部を対向機の中心にかざしても読み取れない場合は、本端末を少し浮かす、または前後左右にずらしてかざしてください。
- NFCアンテナ部と対向機の間に金属物があると読み取れないことがあります。また、ケースやカバーに入れたことにより、通信性能に影響を及ぼす可能性がありますのでご注意ください。

NFC機能を設定

- 1 ホーム画面で▶ [設定] ▶ [その他...]
- 2 「NFC」にチェックを入れる
- 3 [Androidビーム] ▶ [OFF] をタップまたは右にドラッグ

画面に表示したデータを送信／受信する

- 1 端末それぞれのAndroidビーム機能を利用可能な状態に設定
- 2 送信側の端末で転送したいデータを画面に表示
- 3 端末それぞれのNFCアンテナ部を向かい合わせる
 - 対向機を検知すると通知音が鳴り、送信側の端末の画面が縮小表示され、「タップしてビーム」と表示されます。
- 4 転送する画面をタップ
 - 受信側の端末に、送信側で表示されていた内容が送信され表示されます。
 - データの送受信が終了するまでは、端末を動かさないようにしてください。

パソコンとの接続

USBケーブルでパソコンに接続する

USBケーブル（市販品）で本端末とパソコンを接続すると、本端末の内部ストレージやmicroSDカードのデータをパソコンから操作できます。

- 著作権で保護された画像や音楽などは操作ができない場合があります。

お知らせ

- 以下のオペレーティングシステム（OS）に対応しています。ただし、すべてのパソコンでの動作を保証するものではありません。
 - Microsoft Windows 8/8.1
 - Microsoft Windows 7
 - Microsoft Windows Vista

USBケーブルで本端末とパソコンを接続する

- 1 本端末をUSBケーブル（市販品）でパソコンに接続（P.31）**
 - パソコン上の画面に本端末がポータブルデバイスとして表示され、本端末の内部ストレージおよびmicroSDカードにアクセスできるようになります。
- 2 パソコン上の画面のプログラムを選択▶プログラムの画面の表示に従って操作**
- 3 目的の操作を行う**

お知らせ

- 表示される画面はパソコンの動作環境（OS）によって異なる場合があります。

USBケーブルを安全に取り外す

- データ転送中にUSBケーブル（市販品）を取り外さないでください。データが破損する恐れがあります。
- 1 データ転送中でないことを確認し、USBケーブル（市販品）を取り外す**

トラブルシューティング

故障かな？と思ったら

- まずはじめに、ソフトウェアを更新する必要があるかをチェックして、必要な場合にはソフトウェアを更新してください (P.118)。
- 気になる症状のチェック項目を確認しても症状が改善されないときは、「お問い合わせ先」までお気軽にご相談ください。

■ 電源

本端末の電源が入らない

- 電池切れになっていませんか。→P.30

■ 充電

充電ができない (着信/充電LEDが点灯しない、電池アイコンが充電中に変わらない)

- ACアダプタの電源プラグがコンセントに正しく差し込まれていますか。
- 付属のACアダプタをご使用の場合、ACアダプタのmicroUSBプラグが本端末と正しく接続されていますか。→P.31
- USBケーブル (市販品) をご使用の場合、パソコンの電源が入っていますか。

- 充電しながら通話や通信、その他機能の操作を長時間行うと、本端末の温度が上昇して着信/充電LEDが消灯する (充電が停止する)、充電が完了しない、または電池残量が減少する場合があります。その場合は、本端末の温度が下がってから再度充電を行ってください。

着信/充電LEDが赤色に点滅し、操作ができない

- 電池残量が少ない場合は充電してください。→P.30

■ 端末操作

操作中・充電中に熱くなる

- 通話中に、電波環境や通話時間によっては受話部 (レシーバー) 周辺が熱くなることがありますが、異常ではありません。
- 操作中や充電中、充電しながら動画撮影などを長時間行った場合などには、本端末や電池パック、ACアダプタが熱くなることがあります。

電池の使用時間が短い

- 圏外の状態で長時間放置されるようなことはありませんか。圏外時は通信可能な状態にできるよう電波を探すため、より多くの電力を消費しています。
- 電池パックの使用時間は、使用環境や劣化度により異なります。→P.30

- 電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回の使用時間が次第に短くなっていきます。

十分に充電しても購入時に比べて使用時間が極端に短くなった場合は、「お問い合わせ先」までお問い合わせください。

タップしたり、キーを押したりしても動作しない

- 電源が切れていませんか。→P.32
- 画面ロックを設定していませんか。→P.99

タップしたり、キーを押したりしたときの画面の反応が遅い

- 本端末に大量のデータが保存されているときや、本端末とmicroSDカードの間で容量の大きいデータをやりとりしているときなどに起きる場合があります。

時計がずれる

- 長い間電源を入れた状態にしていると時計がずれる場合があります。「日付と時刻の自動設定」「タイムゾーンを自動設定」にチェックが入っているかを確認し、電波の良い場所で電源を入れ直してください。→P.103

アプリが正しく動作しない（起動できない、エラーが頻繁に起こるなど）

- 無効化されているアプリはありませんか。無効化されているアプリを有効にしてから再度お試しください。→P.96

■ 画面

ディスプレイが暗い

- スリープを短い時間で設定していませんか。→P.94
- 画面の明るさ調整を変更していませんか。→P.94
- 画面の明るさ調整の「明るさを自動調整」にチェックを入れている場合は、周囲の明るさに応じて画面の明るさが変わります。→P.94
- 省電力ナビをオンにしていませんか。→P.84
- 近接／照度センサーをシールなどでふさいでいませんか。→P.26

■ 音声

通話中、相手の声が聞こえにくい、相手の声が大きすぎる

- 通話音量を変更していませんか。→P.26
- ディスプレイにシールやシート類などを貼っていませんか。→P.27

■ メール

メールを自動で受信しない

- Eメールアカウントの設定で「受信トレイの確認頻度」を「自動確認しない」に設定していませんか。→P.64

■ カメラ

カメラで撮影した写真や動画がぼやける

- カメラのレンズにくもりや汚れが付着していないか、フィルムを貼り付けていないかを確認してください。

■ データ管理

データ転送が行われない

- USB HUBを使用していませんか。USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。

microSDカードに保存したデータが表示されない

- microSDカードを取り付け直してください。→P.106

■ Bluetooth機能

Bluetooth通信対応機器と接続ができない/サーチしても見つからない

- Bluetooth通信対応機器（市販品）側を機器登録待ち受け状態にしてから、本端末側から機器登録を行う必要があります。登録済みの機器を削除して再度機器登録を行う場合には、Bluetooth通信対応機器（市販品）、本端末双方で登録した機器を削除してから機器登録を行ってください。→P.108

カーナビやハンズフリー機器などの外部機器を接続した状態で本端末から発信できない

- 相手が電話に出ない、圏外などの状態で複数回発信すると、その番号へ発信できなくなる場合があります。その場合は、本端末の電源を一度切ってから、再度電源を入れ直してください。

保証とアフターサービス

保証について

- 本端末をお買い上げいただくと、付属の「ご利用にあたっての注意事項」に保証書が付いていますので、必ずお受け取りください。記載内容および「販売店名・お買い上げ日」などの記載事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げいただいた販売店へお申し付けください。無料保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
 - この製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
 - 本端末の故障・修理やその他お取り扱いによって連絡帳などに登録された内容が変化・消失する場合があります。万が一に備え、連絡帳などの内容はご自身で控えをお取りくださるようお願いいたします。
- ※本端末は、連絡帳などのデータをmicroSDカードに保存していただくことができません。

アフターサービスについて

調子が悪い場合

修理を依頼される前に、本書の「故障かな？と思ったら」(P.112)をご覧ください。それでも調子がよくないときは、「お問い合わせ先」にご連絡の上、ご相談ください。

■ 保証期間内は

- 保証書の規定に基づき無料で修理を行います。
- 故障修理を実施の際は、必ず保証書をお持ちください。保証期間内であっても保証書の提示がないもの、お客様の取り扱い不良（液晶・コネクタなどの破損）による故障・損傷などは有料修理となります。
- 京セラの指定以外の機器および消耗品の使用に起因する故障は、保証期間内であっても有料修理となります。

■ 次の場合は、修理できないことがあります。

- お預かり検査の結果、水濡れ、結露・汗などによる腐食が発見された場合や内部の基板が破損・変形していた場合（イヤホン端子・外部接続端子・液晶などの破損や筐体亀裂の場合においても修理ができません可能性があります）
- ※ 修理を実施できる場合でも保証対象外になりますので有料修理となります。

■ 保証期間が過ぎたときは

ご要望により有料修理いたします。

■ 部品の保有期間は

本端末の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打切り後4年間を基本としております。

ただし、故障箇所によっては修理部品の不足などにより修理ができない場合もございますので、あらかじめご了承ください。また、保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能なことがありますので、京セラ通信サービスセンターへお問い合わせください。

お願い

- **本端末および付属品の改造はおやめください。**
 - ・ 火災・けが・故障の原因となります。
 - ・ 改造が施された機器などの故障修理は、改造部分を元の状態に戻すことをご了承いただいた上でお受けいたします。ただし、改造の内容によっては故障修理をお断りする場合があります。次のような場合は改造とみなされる場合があります。
 - 液晶部やキー部にシールなどを貼る
 - 接着剤などにより本端末に装飾を施す
 - 外装などを京セラ純正品以外のものに交換するなど
 - ・ 改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有料修理となります。
- **本端末に貼付されている銘板シールは、はがさないでください。**
 - ・ 銘板シールには、技術基準を満たす証明書の役割があり、銘板シールが故意にはがされたり、貼り替えられた場合など、銘板シールの内容が確認できないときは、技術基準適合の判断ができないため、故障修理をお受けできない場合がありますので、ご注意ください。

- 各種機能の設定などの情報は、本端末の故障・修理やその他お取り扱いによってクリア（リセット）される場合があります。お手順をおかけしますが、この場合は再度設定を行ってくださるようお願いいたします。
- 修理を実施した場合には、故障箇所に関係なく、Wi-Fi用のMACアドレスおよびBluetoothアドレスが変更される場合があります。
- 本端末の次の箇所に磁気を発生する部品を使用しています。
キャッシュカードなど磁気の影響を受けやすいものを近づけますとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。
使用箇所：スピーカー、アウトカメラ
- 本端末は防水性能を有しておりますが、本端末内部が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って、お早めに京セラ通信サービスセンターにご連絡の上、ご相談ください。ただし、本端末の状態によって修理できないことがあります。

メモリダイヤル（連絡帳機能）およびダウンロード情報などについて

本端末を故障修理する際に、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータなどが変化・消失などする場合があります。これらについて当社は一切の責任を負いません。また、当社の都合によりお客様の端末を代替品と交換することにより修理に代えさせていただく場合がありますが、その際にはこれらのデータなどは一部を除き交換後の製品に移し替えることはできません。

ソフトウェア更新

SKT01のソフトウェア更新が必要かをネットワークに接続して確認し、必要に応じて更新ファイルをダウンロードして、ソフトウェアを更新する機能です。


最新のソフトウェアに更新することで、最適なパフォーマンスを実現し、最新の拡張機能を入手できます。

- 更新前にデータのバックアップをされることをおすすめします。
- 十分に充電してから更新してください。電池残量が少ない場合や、更新途中で電池残量が不足するとソフトウェア更新ができません。
- 電波状態をご確認ください。電波の受信状態が悪い場所では、ソフトウェア更新に失敗することがあります。
- ソフトウェア更新中は操作できません。
- ソフトウェア更新に失敗したときや中止されたときは、ソフトウェア更新を実行し直してください。

ソフトウェア更新に失敗すると、本端末が使用できなくなる場合があります。本端末が使用できなくなった場合は、大変お手数ですが京セラ通信サービスセンターまでご連絡いただけますようお願い申し上げます。

ソフトウェアをダウンロードして更新する

インターネット経由で、本端末から直接更新ソフトウェアをダウンロードできます。

- 1** ホーム画面で  ▶ **【設定】** ▶ **【端末情報】** ▶ **【ソフトウェアアップデート】**
- 2** **【ソフトウェア更新開始】**
 - 以降は画面の指示に従って操作してください。

お知らせ

- ソフトウェア更新後に元のバージョンに戻すことはできません。

主な仕様

■ 本体

品名	SKT01	
サイズ	高さ約129mm× 幅約69mm× 厚さ約13.7mm	
質量	約169g	
内蔵メモリ	ROM：8GB RAM：1.5GB	
外部メモリ対応	microSD 2GBまで microSDHC 32GBまで対応 (2014年3月現在)	
充電時間	ACアダプタ：約220分	
ディスプレイ	種類	IPS液晶
	サイズ	約4.0inch
	解像度	横480×縦800ピクセル (WVGA)
カメラ	撮像素子	CMOS
	有効画素数	アウトカメラ：約808万画素 インカメラ：約130万画素
無線LAN	IEEE802.11b/g/n準拠 (対応周波数帯：2.4GHz)	
Bluetooth	バージョン	4.0 + EDR準拠*
多言語対応	日本語/英語	

※ 本端末を含むすべてのBluetooth機能搭載機器は、Bluetooth SIGが定めている方法でBluetooth標準規格に適合していることを確認しており、認証を取得しております。ただし、接続する機器の特性や仕様によっては、操作方法が異なったり、接続してもデータのやりとりができなかったりする場合があります。

- 充電時間とは、電池パックが空の状態から充電したときの目安です。低温時に充電すると、充電時間は長くなる場合があります。

■ 電池パック

使用電池	リチウムイオン電池
公称電圧	DC3.8V
公称容量	2520mAh

携帯電話機の比吸収率などについて

携帯電話機の比吸収率 (SAR) について

この機種SKT01の携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。

この携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準*ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関 (WHO) と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会 (ICNIRP) が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。

国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率 (SAR : Specific Absorption Rate) で定めており、携帯電話機に対するSARの許容値は2.0W/kgです。この携帯電話機の側頭部におけるSARの最大値は0.794W/kg、身体に装着した場合のSARの最大値は0.446W/kgです。個々の製品によってSARに多少の差異が

生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。

携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話等を行っている状態では、通常SARはより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、携帯電話機の出力は小さくなります。この携帯電話機は、側頭部以外の位置でも使用可能です。キャリングケース等のアクセサリをご使用するなどして、身体から1.5センチ以上離し、かつその間に金属 (部分) が含まれないようにしてください。このことにより、本携帯電話機が国の技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合していることを確認しています。

世界保健機関は、『携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。

さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。

http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts_press/fact_japanese.htm

SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ

<http://www.tele.soumu.go.jp/j/ele/index.htm>

一般社団法人電波産業会のホームページ

<http://www.arib-emf.org/index02.html>

※技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）で規定されています。

OpenSSL License

[OpenSSL License]

Copyright© 1998-2007 The OpenSSL Project. All rights reserved.

This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (<http://www.openssl.org/>)

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT "AS IS" AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT,

STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

[Original SSLeay License]
Copyright© 1995-1998 Eric Young
(eay@cryptsoft.com) All rights reserved.

This product includes cryptographic software written by Eric Young(eay@cryptsoft.com)

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN

CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

オープンソースソフトウェア について

本製品は、GNU General Public License (GPL)、GNU Library/Lesser General Public License (LGPL)またはその他のオープンソースソフトウェアライセンス及び／またはその他の著作権ライセンス、免責条項、ライセンス通知の適用を受ける第三者のソフトウェアを含みます。GPL、LGPL及びその他のライセンス、免責条項及びライセンス通知の具体的な条件については、本製品の「端末情報」から参照いただけます。詳細については当社ホームページをご覧ください。

本製品には、京セラ株式会社が著作権を有するソフトウェア及び京セラが許諾を受けたソフトウェアが含まれています。

本製品に含まれる、京セラ株式会社がオープンソースソフトウェアの規格やライセンスに準拠し設計、開発したソフトウェアの著作権は京セラ株式会社又は第三者が有しており、著作権法上認められた使用法及び当社が別途認めた使用法を除き、お客様は当社に無断で頒布、複製、改変、公衆送信等の使用を行うことはできません。

輸出管理規制について

本製品および付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」およびその関連法令）の適用を受ける場合があります。また米国政府機関が定める米国輸出規制（Export Administration Regulations、およびその他の関連法令）、その他の国の法令等の適用を受ける場合があります。本製品および付属品を直接的、または間接的とを問わず輸出および再輸出する場合は、お客様の責任および費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省、その他関係機関へお問い合わせください。

知的財産権について

著作権・肖像権について

お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからダウンロードなどにより取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などすることはできません。

実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますのでご注意ください。

また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害する恐れがありますのでご注意ください。

商標について

本書に記載している会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

- Bluetoothワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、京セラ株式会社は、これら商標を使用する許可を受けています。



- 文字変換は、オムロンソフトウェア株式会社のiWnnIMEを使用しています。iWnn IME®OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2009-2013 All Rights Reserved.
- 「Wi-Fi」は、Wi-Fi Allianceの登録商標です。
- Wi-Fi Protected Setup、Wi-Fi Protected Setupロゴ、WPAはWi-Fi Allianceの商標です。



- 「省電力ナビ」「スマートソニックレシーバー」は京セラ株式会社の登録商標です。
- microSDロゴ、microSDHCロゴはSD-3C, LLCの商標です。



- 静止画手ブレ補正機能には株式会社モルフォの「PhotoSolid」を採用しております。「PhotoSolid」は株式会社モルフォの登録商標です。

- 動画手ブレ補正機能には株式会社モルフォの「MovieSolid」を採用しております。「MovieSolid」は株式会社モルフォの登録商標です。
- 画像エフェクト技術には株式会社モルフォの「Morpho Effect Library」を採用しております。「Morpho Effect Library」は株式会社モルフォの商標です。
- HDR (High Dynamic Range) 技術には「Morpho HDR」を採用しています。「Morpho HDR」は株式会社モルフォの商標です。
- 「Google」「Google」ロゴ、「Android」「Google Play」「Google+」「Gmail」「Google マップ」「ハングアウト」「YouTube」「Google Chrome」は、Google, Inc.の商標または登録商標です。
- 「Microsoft」「Windows」「Windows Vista」「PlayReady」と「Microsoft Exchange ActiveSync」は、米国 Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- 本製品は、Microsoftの知的財産権に依存した技術が含まれています。かかる技術の本製品から切り離して、Microsoftのライセンス許可を受けずに使用または頒布することは禁止されています。
- コンテンツ権利者は、Microsoft PlayReadyコンテンツアクセス技術を使用することで、著作権で保護されたコンテンツも含め、知的財産権を保護しています。本製品は、PlayReady技術を使用して、PlayReady及び/又はWMDRMにより保護されたコンテンツにアクセスをします。本製品がコンテンツ使用制限を適切に実施できない場合、当該コンテンツ権利者は、Microsoftに対し、PlayReadyによって保護されたコンテンツを使用する本製品の機能を無効化するように申し入れることがあります。この無効化はPlayReadyによって保護されていないコンテンツ及び他のコンテンツアクセス技術によって保護されているコンテンツに影響を与えません。コンテンツ権利者は、提供コンテンツへのアクセスに必要なPlayReadyのアップグレードを要求することがあります。アップグレードを行わない場合、当該提供コンテンツへのアクセスができなくなります。

- 本製品は、MPEG-4ビジュアルおよびAVC特許ポートフォリオライセンスのもとで、消費者が商業目的以外で個人的に使用するために提供されており、次の用途に限定されます。(i) MPEG-4ビジュアル標準（以下「MPEG-4ビデオ」）またはAVC規格（以下「AVCビデオ」）に準拠したビデオのエンコード、および/または(ii) 商業目的以外の個人的な活動に従事している消費者によってエンコードされたMPEG-4またはAVCビデオのデコード、および/または、MPEG-4またはAVCビデオの提供をMPEG LAによってライセンス許可されているビデオプロバイダから入手したMPEG-4またはAVCビデオのデコード。その他の用途に対するライセンスは許諾されず、黙示的に許可されることもありません。販売促進目的、内部目的および商業目的の使用およびライセンス許可に関する追加情報は、MPEG LA, LLCより入手できます (<http://www.mpegla.com> を参照)。MPEGレイヤー3オーディオデコード技術は、Fraunhofer IIS and Thomsonによってライセンス許可されます。
- その他、本書で登録するシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では、TM、®マークは表記していません。
- 本書に明示されていないすべての権利は、その所有者に帰属します。
- 取扱説明書で説明されている携帯電話にインストールされているソフトウェアについては、お客様に使用権が許諾されています。本ソフトウェアのご使用に際しては、以下の点に注意ください。
 - (a) ソフトウェアのソースコードの全部または一部について、複製、頒布、改変、解析、リバースエンジニアリングまたは導出をおこなってはなりません。
 - (b) 法律や規則に違反して、ソフトウェアの全部または一部を輸出してはなりません。
 - (c) ソフトウェアの商品性、特定目的への適合性、第三者知的財産権の不侵害などの黙示の保証を行うものではありません。ただし、ソフトウェアに含まれている、GNU General Public License (GPL)、GNU Library/Lesser General Public License (LGPL) およびその他のオープンソースソフトウェアのライセンスに基づくソフトウェアならびに京セラ株式会社が許諾を受けたソフトウェアのご使用に際しては、当該ソフトウェアのライセンス条件が優先して適用されます。なお、オープンソースソフトウェアについては、P.123に明示しております「オープンソースソフトウェアについて」をご確認ください。

索引

あ

アカウント.....	102
削除.....	102
設定.....	102
アクセスポイント	
初期化.....	92
設定.....	92
アフターサービス.....	115
アプリ	
アンインストール.....	43
アンインストール (Playストア).....	69
一覧.....	41
管理.....	95
設定.....	95
リセット.....	96
アプリアイコン	
ホーム画面に追加.....	43
アプリ画面.....	41
暗証番号	
PINコード.....	99
PINロック解除コード (PUKコード).....	98
位置情報アクセス.....	77
オンにする.....	79
設定.....	97
引用入力 (マッシュルーム).....	52
ウィジェット	
ホーム画面に追加.....	43
音 (設定).....	93
音声検索.....	44
音声入力.....	45
音量調節.....	93

か

壁紙.....	41
カメラ.....	70
キー操作.....	72
起動.....	71
撮影画面.....	71
写真撮影.....	72
設定.....	73
動画撮影.....	72
パノラマ写真撮影.....	72
画面の明るさ.....	94
画面の自動回転.....	35
画面ロック.....	99
解除.....	33
設定.....	99
カレンダー	
作成.....	81
表示.....	81
機内モード.....	90
ギャラリー.....	74
言語と入力.....	100
検索.....	44
故障かな?と思ったら.....	112

さ

自局電話番号.....	104
システム.....	103
写真.....	76
写真再生.....	75
写真撮影.....	72

充電	30
パソコンを使って	31
ACアダプタを使って	31
仕様	119
省電力ナビ	84
オート通信制御	85
オンにする	84
初期化	101
初期設定	33
スクリーンショット	36
スクリーンセーバー	94
ステータスアイコン	37
ステータスバー	37
ストップウォッチ	83
ストレージ	
構成	105
設定	95
スマートソニックレシーバー	27
スリープモード	32
世界時計	82
セキュリティ	97
設定メニュー	86
ソフトウェアキーボード	46
テンキーボード	46
フルキーボード	46
ソフトウェア更新	118

た

タイマー	83
ダイレクトボタン	
設定	94
ダウンロード	41
タスクマネージャ	44
タッチパネル	34
スクロール	34
スワイプ	34
タップ	34
ドラッグ	34
フリック	34
指を広げる/狭める	35
ロングタッチ	34
縦画面表示	35
端末情報	104
端末 (設定)	93
着信音	94
着信音量	53, 93
着信/充電LED	36
通知アイコン	38
通知音	94
通知パネル	39
ディスプレイ/キー (設定)	94
データ使用	89
データの初期化	101
テキスト編集	49
テザリングとポータブルアクセスポイント	91
ポータブルWi-Fiアクセスポイント	91
Bluetoothテザリング	92
テンキーボード	46
トグル入力	48
フリック入力	48
文字入力	46
電源を入れる/切る	32
電卓	83
電池残量	30
電池バック	29
電池 (設定)	95
電話	53
受ける	53
かける	53

着信拒否	53
動画撮影	72
時計	82
アラームの設定	82
ドライブ	84

な

ナビ	41
----	----

は

バイブレーション	
マナーモード	35
メール	64
メッセージ (SMS)	61
パソコンに接続	111
バックライト	
オンにする	33
消灯	32
ハンガアウト	41
比吸収率 (SAR)	120
日付と時刻	103
ブックマーク	67
フルキーボード	46
文字入力	46
プロフィール	
編集	58
防水/防塵/耐衝撃性能	19
ホーム画面	40
アプリアイコン/ウィジェットの移動	40
壁紙の変更	41
フォルダの追加	40
保証	115

ま

マナーモード	35
無線とネットワーク	86
メール	61
削除	64
受信	63
初期設定	61
送信	62
転送	63
添付ファイルの保存	63
返信	63
メールアカウント	
設定	61
変更	64
メッセージ (SMS)	59
受信	59
設定	60
送受信者ごとに削除	60
送信	59
メッセージの削除	60
連絡帳に登録	59
文字入力	45
設定	49
入力方法の選択	45
編集	49

や

ユーザー辞書	52
英語/その他	52
日本語	52
ユーザー設定	97
ユーザー補助	103
横画面表示	35

5

リセット.....	101	Google 音声検索.....	44
連絡先一覧画面.....	54	Google 音声入力.....	45
連絡帳.....	54	Google 設定.....	42
インポート.....	58	Google マップ.....	79
エクスポート.....	58	経路検索.....	80
お気に入り.....	57	現在地検出.....	80
共有.....	58	検索.....	80
グループ作成.....	56	情報の表示.....	80
グループ設定.....	56	ストリートビュー.....	80
新規登録.....	55	Google+.....	42
着信音.....	58	GPS 機能.....	77
プロフィール (編集).....	58	オンにする.....	79
編集.....	57	iWnn IME.....	45
ローカル.....	42	設定.....	50
ロック画面.....	33	ソフトウェアキーボード.....	46
ウィジェット追加.....	33	microSDカード.....	
		構成.....	105
		設定.....	95
		microSIMカード.....	28
		NFC.....	109
		ワンタッチ機能.....	109
		PINコード.....	99
		PINロック解除コード (PUKコード).....	98
		Play ゲーム.....	42
		Playストア.....	69
		インストール.....	69
		削除.....	69
		Playブックス.....	42
		Playミュージック.....	42
		Playムービー.....	43
		SIMカードロック.....	99
		SMS.....	59
		USB接続.....	111
		VPN.....	90
		Wi-Fi.....	86
Bluetooth.....	107		
受信.....	109		
送信.....	109		
端末名.....	107		
ペア設定.....	108		
Gmail.....	65		
Google Chrome.....	66		
シークレットタブ.....	66		
設定.....	67		
タブの追加.....	66		
テキストの検索.....	67		
ブックマーク.....	67		
履歴.....	68		
リンク.....	67		
Google アカウント.....	102		

英数字

YouTube 77

お問い合わせ先

■ 商品に関するお問い合わせ

■ 京セラ通信お客様相談室

一般電話・携帯電話などから

0120-500-349（無料）

● 受付時間：

平日 9:00～18:00 土曜・日曜・祝日 9:00～17:00

- ・都合により休業する場合がございます。
- ・受付時間を予告なく変更することがありますのでご了承ください。
- ・IP電話（050-XXXX-XXXX）からは接続できない場合があります。

■ 電話機の修理に関するお問い合わせ

■ 京セラ通信サービスセンター

一般電話・携帯電話などから

0120-993-404（無料）

● 受付時間：

9:00～12:00 13:00～17:00（土・日・祝日定休）

- ・定休日以外に年末年始、ゴールデンウィーク、夏期休暇、設備点検日などは休業いたします。
- ・受付時間を予告なく変更することがありますのでご了承ください。
- ・IP電話（050-XXXX-XXXX）からは接続できない場合があります。

■ ホームページからのお問い合わせ

- ・機器に関するご相談、お問い合わせ

京セラホームページ

<http://www.kyocera.co.jp/>

京セラ株式会社

〒612-8501 京都市伏見区竹田鳥羽殿町6番地

通信機器関連事業本部

<http://www.kyocera.co.jp/prdct/telecom/consumer/>

〒224-8502 神奈川県横浜市都筑区加賀原2-1-1